

## 平成30年度国外研修報告書

「アメリカ南部黒人公民権運動——運動史とその裏面史」

研 修 先：米国テキサス州テキサス大学アーリントン校公文書館  
(Special Collections and Archives, University of Texas  
at Arlington)

研修期間：平成30年(2018年)12月19日(水)から  
平成31年(2019年)3月18日(月)まで

研修協力者：サマンサ・ドッド (Samantha Dodd、公文書館研究・  
調査員) 氏他

(国外研修員)

学部：国際文化学部

職名：教授

氏名：片桐 康宏



## はじめに——問題の所在

時代的にはアメリカ合衆国の現代史（第二次世界大戦終結後の歴史）を、そして地域的にはアメリカ南部史を専門とする本研修員は、これまで日米の高等教育機関において、1950年代から1960年代を中心とする、20世紀中葉のアメリカ南部黒人公民権運動（civil rights movement）の時代を、人種差別をされた側としての南部黒人ではなく、差別をした側としての南部白人の目を通じ考察、考証することを、自らの研究活動の中心としてきた。この点、いわば、高名なマーチン・ルーサー・キング・ジュニア（Martin Luther King, Jr.）牧師に代表される、黒人公民権運動史におけるヒーローやヒロインではなく、同史におけるヴィレイン（悪玉）に取って代わり焦点を当てる作業を通じ、より深遠なる歴史解釈を備えた、黒人公民権運動史ヒストリオグラフィー（歴史編纂史）構築への貢献を、常に自らの研究活動の課題に据えてきた。そして、こうした研究活動の主軸は、国外における実証研究活動にあり、今日に至るまで、アメリカ、並びに英国に所在する、40箇所を超える大学・州立・地方政府公文書館、歴代アメリカ大統領図書・公文書館、そしてアメリカ連邦議会図書・公文書館等において、史料調査・蒐集に努めてきた。

今般、2018年12月中旬から2019年3月中旬までの3ヵ月間、研修員として赴いたアメリカ南部テキサス州も、黒人による市民的諸権利獲得闘争と、政治家・公職者に率いられた白人エスタブリッシュメント層による抵抗運動が、実は激しく対峙をした南部州でありながら、黒人公民権運動史ヒストリオグラフィーにおいては、他の南部諸州との間の比較の問題として、これまで研究者による十分な史的検証が行われてきた南部州であるとは言い難い。この点、特に、1956年晩夏に同州の小都市であるマンズフィールド（Mansfield）の公立高校において生じた、白人・黒人間の人種統合（人種共学）への移行計画を巡る事件（しばしば、「マンズフィールド高校事件」[Mansfield High School Incident]と称され、後述する如く、結果としては1965年秋に至るまで、人種統合の実現を見ない）は、後に他の南部諸州の諸都市を巻き込み、公民権運動史において多くが語られることとなる同様の出来事——例えば、1950年代後半のアーカンソー州リトルロックでの「リトルロック高校事件」（1957年）、

そして1960年代前半に生じる、ミシシッピ州ユニバーシティでの「ミシシッピ大学事件」(1962年)や、アラバマ州タスカルーサでの「アラバマ大学事件」(1963年)等——の、いわば「プレリュード」としての位置付けがなされても良いにもかかわらず、アメリカ史家、ないしはアメリカ南部史家による、黒人公民権運動史ナラティブにおける考察が、不十分なままであることは否めない<sup>1)</sup>。

そこで、本研修員は、「アメリカ南部黒人公民権運動——運動史とその裏面史」と題した研究課題の下、上述の「マンスフィールド高校事件」に関する史的考察作業を中心とし、広義におけるテキサス州内黒人公民権運動史、並びにその運動史の「裏面史」にあたるどころの、白人による抵抗運動史に、再検証を加えることを、研修業務の一大目的に据え、史料調査・蒐集に臨んだ。

#### 研修期間における史料調査・蒐集のプロセス

公文書やパーソナル・ペーパーズ (personal papers) を始めとする一次資料は言うに及ばず、書籍や論稿等の二次史料に至っても、今日から数えて60年以上前の1950年代半ばに、テキサス州の一小都市であるマンスフィールド (1950年に実施された、アメリカ国勢調査局の調査結果によれば、964人の人口を抱える、「都市」というよりも、農業や穀物製粉業を中心とした「町」の如き存在であった) の公立高校で生じた、白人・黒人間人種統合事件に関する史料は、その量の点においてまさに僅少であり、この事実こそが、学者、研究者の多くを、研究主題としての「マンスフィールド高校事件」から、必然的に遠ざけてしまってきた理由であるものとの、理解をすることが出来る<sup>2)</sup>。

本研修員が関知をしている限りにおいては、「マンスフィールド高校事件」を黒人側の視点——つまりは、「差別をされた側」からの視点——をもって取り扱った、二次史料としての書籍が、アメリカに1冊のみ存在をする。1990年代の半ばに出版された同書は、テキサス大学出版会 (University of Texas Press) から刊行されてはいるものの、その内容の基となっているものは、西テキサス農工大学 (West Texas A & M University) 大学院へ提出された、修

士学位論文である<sup>3)</sup>。一方、高名なテキサス州史家であるランドルフ・B・キャンベル (Randolph B. Campbell) の手による、テキサス州史分野における代表的書籍 (本文だけでも 470 頁に及ぶ) である、*Gone to Texas: A History of the Lone Star State* においてさえも、マンスフィールドでの人種統合事件の叙述に、1 頁強のスペースを割いているに過ぎず、さらには、黒人公民権運動通史の代表的著作としての、*Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years, 1954-1965* に至っては、「マンスフィールド高校事件」への言及が一切なされていない<sup>4)</sup>。

そこで、研修期間開始当初に、本研修員がまず取り掛かったことは、日本に所在する大学・高等教育諸機関の図書館等においては、閲覧をすることが困難である、テキサス州史、テキサス州政治史を主題とした、二次史料としての学術研究書 (これらの多くは、テキサス大学出版会、並びにテキサス農工大学出版会 [Texas A & M University Press] から刊行されたものである) 多数を、研修先として選定をしたテキサス大学アーリントン校キャンパス内の、中央図書館 (Central Library, University of Texas at Arlington) において、読み込みをすることと、同館において、マイクロフィルム化されたテキサス州内日刊諸紙の記事を、閲覧する作業であった。

こうした二次史料、並びに新聞記事から得ることの出来た、断片的な情報に頼りながら、研修期間の大半においては、テキサス州政府・州知事公文書、政治家や公職者が残したパーソナル・ペーパーズ、さらにはオーラル・ヒストリー・トランスクリプト (テープ起こしをした口述史) を中心とした一次史料の調査、蒐集に努めた。一次史料の閲覧にあたっては、研修先であったテキサス大学アーリントン校公文書館 (Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington) で過ごした時間が、最も長いものとなった。同館における、本研修員の研修協力者であったサマンサ・ドッド (Samantha Dodd) 氏は、残念なことに、研修期間の半ばに、テキサス州フォートワースに所在するテキサス・クリスチャン大学 (Texas Christian University) へ転出をすることとなったが、ドッド氏不在の後には、公文書館長を務めるブレンダ・マクラーク (Brenda McClurkin) 氏と、ベン・ヒューズマン (Ben Huseman) 公文書館研究・調査員が、史料調査・蒐集にあたり、本研修員を支援してくれ

た。

また、一次史料の調査・蒐集作業においては、テキサス大学アーリントン校公文書館を、そのベースとしたものの、同館の他に、研修期間のほぼ毎週末・週明けを利用して（そして、テキサス州の広大さと、陸上公共交通網の未発達さ故の移動手段の確保の双方に、大いに悩まされながらも）、テキサス州内に点在をする計 10 箇所の公文書・図書館等を訪館する機会を持った。これら諸施設は、英語表記のアルファベット順に、(1) オースチン市立図書館オースチン歴史センター (Austin Public Library, Austin History Center、州都オースチン)、(2) マンスフィールド市立歴史博物館・遺産センター (Mansfield Historical Museum and Heritage Center、マンスフィールド)、(3) マンスフィールド市立図書館 (Mansfield Public Library、マンスフィールド)、(4) テキサス・クリスチャン大学図書・公文書館 (Texas Christian University, Mary Couts Burnett Library、フォートワース)、(5) テキサス州立図書・公文書館 (Texas State Library and Archives、州都オースチン)、(6) テキサス州立図書・公文書館分館 (Texas State Library and Archives, Sam Houston Regional Library and Research Center、リバティー)、(7) テキサス工科大学図書・公文書館 (Texas Tech University, University Library、ラボック)、(8) テキサス・ウェスリアン大学公文書館 (Texas Wesleyan University, Special Collections and University Archives、フォートワース)、(9) 北テキサス大学公文書館 (University of North Texas, Special Collections、デントン)、並びに (10) テキサス大学オースチン校アメリカ史研究センター (University of Texas at Austin, Dolph Briscoe Center for American History、州都オースチン) である。

尚、本研修における研究課題に取り組むにあたり、以前、2 冊目の英文拙書 (*Black Freedom, White Resistance, and Red Menace: Civil Rights and Anticommunism in the Jim Crow South* [Baton Rouge, Louisiana State University Press]) を執筆している折に、研究活動、史料調査のために訪館したことのある、ドワイト・D・アイゼンハワー大統領図書・公文書館 (Dwight D. Eisenhower Presidential Library、カンザス州アピリン)、テネシー州立図書・公文書館 (Tennessee State Library and Archives、テネシー州ナッシュ

ビル)、アーカンソー大学フェイエットビル校公文書館 (University of Arkansas at Fayetteville, Special Collections、アーカンソー州フェイエットビル)、並びにミシシッピ大学公文書館 (University of Mississippi, Archives and Special Collections、ミシシッピ州ユニバーシティー) で蒐集した一次史料の一部も、アメリカにおける研修業務遂行、そして本研修報告書執筆作業において、参考になっている。

### 「原罪」としての黒人奴隷制と

#### アメリカ南部における「ジム・クロウ」制度の確立

アメリカにおける黒人奴隷制は、同国がその誕生の時点から――否、もっと正確には、イギリス領植民地であった時代から――自らに内包させた「原罪」(original sin) の一つであった。19世紀中葉の1861年4月から、ちょうど4年間にわたり、「自由州」(free states) としての北部諸州と、「奴隷州」(slave states) としての南部諸州との間で戦われたアメリカ南北戦争 (American Civil War) は、まさにこの「原罪」としての黒人奴隷制を巡る内戦であった。アメリカが、大陸国家化を完成させるプロセスの中であって、西方に広がる新領地 (西部領地) において、黒人奴隷制を拡散させるべきか否か、さらにはその後のアメリカが、奴隷制国家としての歩みを継続させていくべきなのか、それとも奴隷制という非人道的なる制度を廃止した、いわば「新生国家」としての再出発に臨むべきであるのかという、「国家の在り方」としての重大な問題が、このアメリカ南北戦争の行く末にかかっていたのである。

1860年に行われたアメリカ大統領選挙において、西部領地への黒人奴隷制不拡散を党の綱領として定めた共和党の候補である、エイブラハム・リンカーン (Abraham Lincoln) が、大統領職に当選するに及んで、アメリカ南北戦争勃発と相前後する形で、テキサス州を含む南部11州が連邦、すなわちアメリカ合衆国から脱退をし、自らの政府としての「南部連合」(Confederate States of America、略してCSA) を結成する。連合憲法において、黒人奴隷制の存続を明確に謳った「南部連合」ではあったが、結果として、当時のアメ

リカ全人口の約2パーセントにあたる、おおよそ62万人の戦死者をもたらした、内戦であるところのアメリカ南北戦争は、連邦軍——つまりは、黒人奴隷制の拡散に反対をした北部諸州——の勝利に終わる。

1865年4月のアメリカ南北戦争終結後、内戦に勝利をした北部主導のもと、旧「南部連合」を構成した南部諸州は軍事占領され、南部再建期（Reconstruction）の時代を迎えることとなる。「動産」としての「財産」なのか、それとも「人間」であるのかという、あやふやな立場に立たされていた、南部における黒人の法的地位保全のために、この南部再建期において、3つの重要な修正追加条項（amendments）が、アメリカ合衆国憲法に付け加えられる。1865年に制定された憲法修正第13条において、アメリカ合衆国全土、及びその管轄に属する全ての地域での奴隷制の禁止が謳われ、それから3年後の1868年制定の修正第14条では、かつて奴隷の法的地位にあった南部黒人も、アメリカ合衆国及び居住する当該州の「市民」であり、いかなる州もその「市民」に対して、「法の下での平等」（“equal protection of the laws”）を拒んではならないとされた。さらに、1870年にアメリカ合衆国憲法に付け加えられた修正第15条が、政治過程への参加権——つまりは、選挙権と被選挙権——を、旧奴隷であるところの南部黒人に付与したのである。

こうして、南部再建期において、有権者の増大と、それに伴う公職者の誕生により、南部黒人による政治的進出が進む一方において、今や法的、憲法的にも「動産」から「人間」となり、かつ「市民」としての地位を与えられた旧奴隷による社会的自立を、快しとしない南部白人により、「クー・クラックス・クラン」（Ku Klux Klan）が結成され、こうした秘密結社に属する白人至上・優越主義者による、南部黒人に対するテロ行為が、南部社会を席捲していく。さらに、1876年に行われた大統領選挙に際しての、北部・南部間の政治的妥協に起因し、その翌年の1877年には、北部による南部からの軍事撤退が行われ、12年間に及んだ南部再建期は、唐突なまでの幕引きを迎えることとなる。

南部再建期終了後の南部にあっては、黒人の政治・社会的地位を巡る運命が、再び、政治家や公職者に代表される、白人エスタブリッシュメント層の手に委ねられることとなり、その結果、次第に黒人の政治過程への参加権が、剥

奪られていくようになる。ただし、アメリカ合衆国憲法修正第 15 条の存在のため、今や、人種や肌の色を理由とした、あからさまな形での選挙・被選挙権の制限は不可能であるがために、人頭税（poll tax）の納付義務、識字テスト（literacy test）や憲法解釈テスト（understanding test）実施等の手段により、南部白人エスタブリッシュメント層は、経済的に貧しく、かつ教育程度の低い黒人を、政治過程から排除していく。

黒人投票権の剥奪とほぼ同時進行的に、テキサス州を含めた、南部再建期終了後の南部諸州においては、社会生活の隅々——誕生する病院に始まり、公共交通機関、公立学校、宿泊施設、レストラン、娯楽施設、公共公園、そして死後の墓地に至るまで——に及ぶ、白人・黒人間の人種分離・隔離制度が慣習化されていく。この点においても、アメリカ合衆国憲法修正第 14 条の規定の中に、「法の下での平等」条項が存在するため、当初、南部諸州は、それに真っ向から抵触するような形での、人種分離・隔離制度の立法化をすることが出来ずにいた。しかしながら、間もなく、19 世紀から 20 世紀への世紀転換期にあたる 1896 年に下された、アメリカ連邦最高裁判所（U.S. Supreme Court）による「プレッシー対ファーガソン判決」（*Plessy v. Ferguson*、以下、「プレッシー判決」と記す）を契機として、もはや「慣習化」ではなく「法制化」された、「ジム・クロウ」（Jim Crow）制度と称されることとなる人種分離・隔離制度が、南部諸州において確立されていく。テキサス州の隣州であるルイジアナ州を走る、州内鉄道客車における人種分離・隔離制度の合憲性を争ったこの裁判において、アメリカ連邦最高裁判所は、「分離しても平等」（“separate but equal”）ならば良し——つまりは、白人、黒人それぞれが使用、利用する施設等においての、「平等性」が保たれている限りにおいては、両人種を分離・隔離することは、合衆国憲法に抵触しない——とする原則を打ち立て、まさにそれは、南部諸州にとって、人種、肌の色による分離・隔離制度としての「ジム・クロウ」制度を合法化させていくための、大きな後ろ盾となったのである<sup>5)</sup>。

## 1954年アメリカ連邦最高裁判所「ブラウン判決」への道程

アメリカ連邦最高裁判所により、19世紀末に下された「プレッシー判決」が示した法原則は、「分離すれども平等」との原則であった。それにもかかわらず、「プレッシー判決」以降、半世紀以上の長きにわたり、現実には南部白人エスタブリッシュメント層が行ったことは、この「分離すれども平等」原則の下での人種分離・隔離政策の運用ではなく、同原則から逸脱する形での、「分離してかつ不平等」(“separate and unequal”)の実態を、南部黒人に押し付けることであり、それは公教育の分野における、白人校と黒人校との間の教育水準の大きな隔たりにも、明々白々に現れていた。

第二次世界大戦終結後、共産主義陣営との対峙をする中であって、「民主主義の偉大な兵器廠」(“great arsenal of democracy”、第32代アメリカ大統領フランクリン・D・ローズベルト [Franklin D. Roosevelt] による言葉)を自負するアメリカによる一挙一動が、国際的な注目を浴びることとなる。この冷戦期の初期において、自由主義陣営の旗振り役であるアメリカに対する、共産主義陣営による批判の矛先が、アメリカ国内における人種問題——具体的には、アメリカ南部において黒人が被ってきた、「分離してかつ不平等」なる社会的取り扱い——であったことは、なにも偶然の出来事ではなかった。つまりは、アメリカが、自由主義というイデオロギーの先導者であり続ける限りにおいては、「人種統合」を国是とする必要に、同国が迫られていくのである<sup>6)</sup>。

一方、1940年代半ばから1960年代にかけてのアメリカ南部政治の特徴は、白人・黒人間人種関係にかかわる社会変化への、一貫した抵抗姿勢であった。この点、南部白人政治家に課せられ、期待された第一義的政治目標は、「南部の伝統的生活様式」(“southern way of life”)を守り抜くことにあり、換言すればそれは、いずれは白人の社会的地位を脅かすことになろう、黒人による人種平等への希求の道を閉ざすことであった。

「人種統合」——つまりは、インテグレーション (integration) ——を国是とする必要に迫られた、国家としてのアメリカが、「人種分離・差別」——つまりは、セグレーション (segregation) ——の継続、温存を望む南部諸州を内包する状況において、1954年5月17日にアメリカ連邦最高裁判所が、半

世紀前の自らの判断を覆し、いわばアメリカの「良心」を代弁する形で、「ブラウン対カンザス州トピーカ市教育委員会判決」(*Brown v. Board of Education of Topeka*、以下、「ブラウン判決」と記す)を下す。法律による公立学校における人種分離教育制度を、アメリカ合衆国憲法修正第14条の「法の下での平等」原則違反とした、この歴史的な判決は、黒人公民権運動団体としての「全国黒人地位向上協会」(National Association for the Advancement of Colored People、略してNAACP、1909年にニューヨークで設立)主導による法廷闘争の結果であり、直接的には公教育分野における人種別学制度の撤廃を促すものであった。しかしながら同時に、同判決は、その直後にアメリカ南部社会を席捲することとなる黒人公民権運動の、いわば「起爆剤」ともなる<sup>7)</sup>。さらには、この「ブラウン判決」は、その判決内容を不服とする南部白人の手により展開されることとなる、公立学校における人種統合教育への移行実現を完全阻止するための抵抗運動——アメリカ史、アメリカ南部史における呼称として、「マッシブ・レジスタンス」(massive resistance)と称される——の大きい引き金ともなり、こうした南部白人による、熾烈な抵抗運動の舞台となった点においては、テキサス州も——そして同州のマンズフィールドも——決して例外ではなかった<sup>8)</sup>。

#### 史料から構築され得る「マンズフィールド高校事件」の概要

地理区分上、テキサス州は、アメリカ南部地域の最も西端に位置し、西部諸州の一つであるニューメキシコ州と西側を接し、南部諸州の一つであるルイジアナ州と東側を接する、広大な面積を有する州——アラスカ州に次いで、全米第2位の州面積を誇り、それは日本の総面積の約1.8倍——である。歴史的には、かつてスペインが領有権を主張し、その後はメキシコ領に編入されていたことに起因し、1845年にアメリカ合衆国の一州として編入された後のテキサス州西部においては、白人とヒスパニック系住民が人口の多くを占め、テキサス州東部との間の比較の問題として、黒人人口が密集するコミュニティは僅少であった。

一方、テキサス州東部においては、隣州のルイジアナ州へ、そしてさらにその東方へと続いていく、肥沃な黒土地帯——「ブラック・ベルト」(black belt) と称される——の存在の故、アメリカ南北戦争以前にあっては、綿花栽培を中心としたプランテーション（大農園）経済と、それを支えた黒人奴隷制が拡散しており、実にかつてのテキサス州東部は、前出のテキサス州史家キャンベルが、自著のタイトルに冠した如く、『黒人奴隷制の帝国』(*An Empire for Slavery*) であった<sup>9)</sup>。尚、テキサス州東部に隣接するルイジアナ州、並びにそれ以東に位置するミシシッピ州、アラバマ州、ジョージア州、そしてサウスカロライナ州の計 5 州は、しばしば特別に、深南部諸州 (Deep South states) と呼称されており、これら諸州は歴史的に——そして特に、「ブラック・ベルト」の存在により——州人口全体に占める黒人（アメリカ南北戦争以前においては、黒人奴隷）の割合が高く、それ故に白人住民による、黒人住民や黒人公民権運動に対する差別、偏見、そして時には憎悪の感情が強い地域でもあった。

こうした地理的、歴史的条件により、テキサス州東部のコミュニティーにおいては、特に同州西部の人種別人口構成と比した際に、黒人人口が集中していたばかりではなく、テキサス州政治の分野においても、プランター（大農園主）の血筋を継ぐ、同州東部出身の政治家による支配が行われていた。また、南部再建期終了後は、他の南部諸州と同様に、テキサス州の白人エスタブリッシュメント層も、黒人からの投票権、市民権の剥奪を企てる一方、自らの「白人の党」としての民主党に結集をし、爾来、1960 年代の半ばに至るまで、テキサス州政界における、民主党による一党支配体制が続くのである<sup>10)</sup>。

「マンスフィールド高校事件」の舞台となったテキサス州マンスフィールドは、アーリントン（本研修員が研修先として選定した、テキサス大学アーリントン校の所在地）から南へ約 15 マイル（24 キロ）の距離に、そして近隣大都市の一つであるフォートワースから南東へ同じく約 15 マイルの距離にあり、深南部諸州、並びにテキサス州東部を、東西に横切る形で広がる、上述の「ブラック・ベルト」の西端に位置している。従って、ダラス（マンスフィールドから北東へ 30 マイル強 [約 50 キロ]）やフォートワースといった、比較的コスモポリタンの、進歩的な都市部が近くにありながらも、公職者を始めとし

た、そして一般住民を含んだ、マンズフィールドの白人エスタブリッシュメント層は、白人・黒人間人種分離・隔離制度を柱に据えた、「南部の伝統的生活様式」を堅守することに、常に鋭敏であった。

1950年代の初頭、マンズフィールドで初等・中等公教育を受けるにあたっては、1年生から8年生までの白人生徒は白人専用校へ、そして同じく1年生から8年生までの黒人生徒は黒人専用校へ、それぞれ通学をしていた。まさしく、「分離してかつ不平等」の実態を体現する如く、マンズフィールドの公教育制度においても、教育水準と施設面における、「分離」された白人校と黒人校との間の、明々白々なる「不平等」さが存在をしており、8年制の黒人専用校には、教師がたった一人しかおらず、また同校には、水道施設やトイレの施設が不在であったばかりでなく、給食プログラムや、通学のためのスクール・バスも、黒人生徒には一切提供されていなかった<sup>11)</sup>。初等・中等教育を終えたマンズフィールドの白人生徒は、同市に唯一つだけある高校であり、かつ白人専用校である、マンズフィールド高校へ進学をすることが出来た。しかし、進学を望む黒人生徒は、マンズフィールドから北西へ15マイルも離れたフォートワースにある、黒人専用高校へ通わねばならず、生徒は皆自費で、私営の中距離バスを利用して通学することを強いられていたのである<sup>12)</sup>。

1954年5月17日に、アメリカ連邦最高裁判所が「ブラウン判決」を下すと、公教育分野における人種分離・隔離制度を違憲としたこの判決を後ろ盾として、マンズフィールドの黒人住民の間にも、「分離してかつ不平等」なる現状を打破する機運が高まる。「ブラウン判決」発表からちょうど3ヵ月が経過した、8月17日、黒人公民権運動団体である「全国黒人地位向上協会」のマンズフィールド支部長を務めていたT・M・ムーディー (T. M. Moody) を中心とした、マンズフィールドの黒人指導者達が、同市の教育委員会

(Mansfield Independent School District) に対して請願書を提出し、この中においてムーディーらは、マンズフィールド高校を含めた同市の公立学校全てにおいて、人種統合教育への移行がなされるべきとの申し立てを行った。しかしながら結果、この申し立ては、マンズフィールド教育委員会によって黙殺をされる一方、公教育制度における人種分離・隔離制度をアメリカ合衆国憲法違反とした、首都ワシントンにある連邦最高裁判所も、自らが下した判決の持つ

社会的重大さに、揺れ動いていたのである<sup>13)</sup>。

実は、1954年5月に下した「ブラウン判決」において、アメリカ連邦最高裁判所は、公教育分野における人種分離・隔離制度を、違憲とする判断を下したものの、同判決が及ぼすであろう社会的影響に鑑み、「如何にして、公教育制度における人種統合を進めていくのか」という、いわば判決の施行に関する判断、命令を下せずにはいた。つまりは、公教育の場における人種分離・隔離制度が、容認され得ぬものであり、アメリカ合衆国憲法とは相容れないものであるとした一方、同制度を如何なる方法を用い、アメリカ社会——特に、南部社会——から根絶していくべきであるのかという点について、法廷としての具体策を示すことが出来なかったのである。事実、「ブラウン判決」が下された時点において、全米48州（当時はまだ、現在のアラスカ州とハワイ州が、アメリカ合衆国に州として編入されていない）の内、テキサス州を含む17州と、実にアメリカ合衆国の首都であるワシントン特別区（アメリカ連邦最高裁判所の所在地）が、州憲法、ないしは州法の法的根拠の後ろ盾の下、白人・黒人間人種分離・隔離制度を、公教育分野において施行していたのである。これら17諸州とワシントン特別区の外に、4州においては、当該州内地方自治体の条例、もしくは慣行・慣習によって、人種分離・隔離制度が施行されており、「ブラウン判決」の被告となったカンザス州は、この4州の内に含まれていた<sup>14)</sup>。

「ブラウン判決」から1年強が経過をした1955年5月31日、アメリカ連邦最高裁判所は、前年に自らが下した「ブラウン判決」のいわば「施行判決版」であるところの、「ブラウンⅡ判決」を下す。この施行判決において同裁判所は、公立学校における白人・黒人間人種統合を推し進める主たる責任は、各地方自治体学校区官吏や教育委員会が負うべきであるとし、同時に、連邦最高裁判所の下級に位置する裁判所（日本の地方裁判所にあたる連邦地区裁判所と、日本の高等裁判所に相当する連邦控訴裁判所）は、こうした地方教育行政官吏によって策定される人種統合策が、「ブラウン判決」の趣旨に沿ったものであるか否かの審理、判断をするべきであるとした。さらに、「ブラウンⅡ判決」の結びにおいてアメリカ連邦最高裁判所は、公教育分野における人種統合が、「可及的速やかに」（“with all deliberate speed”）行われるべきとの法廷意

見を示したのであったが、まさにこの言葉を逆手に取るかのように、南部白人エスタブリッシュメント層は、「熟考したうえでの慎重な速度で（人種統合策を施行するように）」との自己都合的解釈をしていくこととなり、結果、皮肉にもこの連邦最高裁判所による判決文の文言は、南部白人による、公立学校における人種統合教育への移行実現を完全阻止するための抵抗運動——つまりは、「マッシュ・レジスタンス」——に、油を注ぐことになってしまう<sup>15)</sup>。

施行判決としての「ブラウンⅡ判決」が、アメリカ連邦最高裁判所により下されるやいなや、1955年7月26日、再び、「全国黒人地位向上協会」マンスフィールド支部長のムーディーらが中心となり、マンスフィールド高校を含む市内公立学校全てにおいて、人種統合・共学が実現される旨を要望する、同市教育委員会への申し立てがなされる。しかしながらこの折、9月に予定された新学年度開始までに、人種統合教育へ移行するための諸策を策定することは、物理的に困難であるとの事由により、マンスフィールド教育委員会は、ムーディーらの主張を退け、少なくとも当面の1955学年度期間（1955年9月から1956年8月まで）においては、人種統合教育への移行は実現し得ないとの判断を下す<sup>16)</sup>。

マンスフィールド教育委員会を始めとする、同市の公職者、白人エスタブリッシュメント層が、公教育分野における人種統合への抵抗姿勢を明確にする一方、マンスフィールドにおける出来事に触発される形で、テキサス州都オースチンにおいても、州レベル政治家による、アメリカ連邦最高裁判所判決に対する抵抗運動が、次第に鮮明化、具体化していくこととなり、その抵抗運動の先導者となったのは、第37代テキサス州知事を務めていたR・アラン・シヴァース（R. Allan Shivers）であった。白人・黒人間人種関係を巡る事象、争点において、保守的な——つまりは、人種差別主義的な——色合いの強い、テキサス州東部に位置するラフキンで、1907年に生まれたシヴァースは、テキサス大学オースチン校卒業と同時に弁護士資格を取り、1935年に若干28歳の若さで、テキサス州議会の上院議員職に当選する。州議会での経験を積んだ後の1947年に、テキサス州副知事職へと昇り詰めたシヴァースは、当時の州知事ビューフォード・H・ジェスター（Beauford H. Jester）の突然の死去を受け、1949年7月、テキサス州の第37代知事職に就任する。その後、1950

年、1952年、そして1954年に行われた州知事選挙を勝ち抜き、シヴァースはテキサス州政治史上初めて、3期連続して州知事の座に座り続けてきた（本報告書をしたためている今日に至っても、この記録は破られていない）のである<sup>17)</sup>。【写真1】

かつて、「このテキサス州は、私の手中に収まっているのだ」（“I hold this state in the palm of my hand”）と豪語したこともあるシヴァース州知事は、テキサス州民主党組織——その中でも特に、民主党保守派グループ——の重鎮でありながらも、いわゆる「党派ライン」（party line）を超える形で、時の共和党アメリカ大統領ドワイト・D・アイゼンハワー（Dwight D. Eisenhower）と、親しき関係にあった<sup>18)</sup>。シヴァース州知事と同様、そもそもアイゼンハワース大統領は、連邦制の下、そしてアメリカ合衆国憲法の下において、各州が元来固有に持つべきとされてきた諸権限——つまりは、公教育制度を管理、運営する権限を含めたところの「州権」（states' rights）——の擁護者であり、自らが行政府長を務める国家の最高裁判所が下した、「ブラウン判決」の至当さと実効性に疑念を呈していた<sup>19)</sup>。

「全国黒人地位向上協会」マンスフィールド支部長のムーディーらによる、同市教育委員会に対する、人種統合移行にかかわる2回目の申し立てが行われた日の翌日にあたる、1955年7月27日、テキサス州都オースチンにおいてシヴァース州知事の旗振りにより、「公立学校における人種分離制度に関するテキサス州知事諮問委員会」（Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools）が設立される<sup>20)</sup>。アメリカ連邦最高裁判所が「ブラウン判決」を下した折に、「[テキサス州を初めとして、] 公教育分野における人種統合・共学が実現されるまでには、何年も要することになるであろう」（“It will require years to comply with the order for integration of schools”）と述べたシヴァースは、テキサス州議員や州内教育関係者等計42名を構成メンバーとする、この諮問委員会を設立することにより、連邦最高裁判所による——換言すれば、首都ワシントンの連邦政府による——「強圧的な人種統合」（“forced integration”）を、テキサス州政府として食い止めるための施策を策定すると共に、州内の地方学校区や教育委員会が、人種統合・共学への移行を迫られた際の、州政府としての対応方を検討し始めるのである<sup>21)</sup>。

一方、州内公立学校における人種統合への反対姿勢——つまりは、アメリカ連邦最高裁判所による「ブラウン判決」への反抗姿勢——を明確にした、テキサス州政府をまるで援護するかの如く、「公立学校における人種分離制度に関するテキサス州知事諮問委員会」が組織された 1955 年 7 月には、「白人市民会議」(Citizens' Council) と称された白人市民団体の支部が、州東部に位置する小都市であるキルゴアに結成される。ジャーナリストを始めとする当時の観察者達により、しばしば、「山の手の【クー・クラックス・】クラン」(“Uptown Klan”) と呼ばれ、「州権の擁護」(“states' rights”) と「白人種の保全」

(“racial integrity”) を、自らの組織のモットーとしたこの市民団体は、元来、「ブラウン判決」が下された直後の 1954 年 7 月に、深南部州の代表格であるミシシッピ州において結成された、いわば「ブラウン判決」への、そして白人・黒人間人種統合政策全般への、草の根レベルにおける抵抗組織であった。黒人公民権運動の時代を通じ、人種統合政策に反対を唱える南部白人社会において、最も影響力を持ったとされる「白人市民会議」は、上述のキルゴアに、テキサス州内で最初の支部を組織した後、アーリントン、ダラス、フォートワース、そしてマンスフィールドにも支部を設け、「マッシュ・レジスタンス」——公立学校における人種統合教育への移行実現を完全阻止するための抵抗運動——の牽引役としての一翼を担うこととなる<sup>22)</sup>。

テキサス州行政府機関として、1955 年夏に設置をされた、「公立学校における人種分離制度に関するテキサス州知事諮問委員会」の初会合は、その設立が発表されたわずか 5 日後の 1955 年 8 月 1 日に、州都オースチンにおいて開催されるのであるが、その折に、同諮問委員会内に「法制・立法小委員会」

(Legal and Legislative Subcommittee) が設けられる。9 月の新学年度開始を目前とする中、この小委員会による中間報告書 (preliminary report) が公にされ、同報告書において、人種統合への公的抵抗機関としての州知事諮問委員会は、州内地方学校区・教育委員会に対し、公教育分野における人種共学への移行を、まさに「慎重な速度」——施行判決としての「ブラウンⅡ判決」で示された表現——で行うように指示をしたばかりではなく、1955 学年度において、人種統合への移行へ踏み切った学校区に対しては、州政府から支出される教育補助金の減額や支給停止があり得ることをも、示唆したのである<sup>23)</sup>。

こうして、今や、地方政府としてのマンスフィールドのみならず、行政府長としての州知事に率いられたテキサス州政府も、公立学校における人種統合政策への移行に反対する様子を了知するに及び、「全国黒人地位向上協会」マンスフィールド支部は、法的手段に訴える覚悟を固める。フォートワースの黒人弁護士であったL・クリフォード・デーヴィス（L. Clifford Davis）の助力の下、1955年10月7日に、マンスフィールドに居住する計12名の黒人高校生を代表する形で、この内の3名の生徒の保護者が原告となり、テキサス州北部を管轄するアメリカ連邦地区裁判所（U.S. District Court for the Northern District of Texas）への、訴訟提起がなされた。これをもって、その後約11ヵ月間に及ぶ、マンスフィールド高校における人種統合実現を求める法廷闘争が、幕を開けることとなる<sup>24)</sup>。【写真2】

アメリカ連邦地区裁判所に提訴されたこの裁判は、テキサス州東部に位置するコマースを出身地とする、ジョセフ・E・エステス（Joseph “Joe” E. Estes）判事により審理されることとなり、原告・被告双方による口頭弁論が、提訴からちょうど1ヵ月後にあたる、1955年11月7日に開始されることが決定された。連邦地区裁判所での口頭弁論開始予定を控えた10月25日の夜半には、裁判の行方を注視している、120名を超えるマンスフィールドの白人市民が、同市の集会所に集まり、判決の内容にかかわらず、マンスフィールド高校における人種統合を全面拒否していく旨を決意するべく、決起集会が開催され、この場において、「白人市民会議」マンスフィールド支部の結成を見るのである<sup>25)</sup>。

連邦の（つまりは「テキサス州の」ではなく、「アメリカ合衆国の」）判事でありながらも、自らが生まれ育った州東部「ブラック・ベルト」の因習——「ジム・クロウ」制度——の呪縛から、完全に解放されることのなかった地区裁判所エステス判事は、1955年11月21日に判決を下し、この中で、マンスフィールド学校区・教育委員会は、人種統合移行へ向けての「誠意ある努めをしている」（“making a good faith effort”）旨の認定をし、さらには学年度の途中における統合策施行には難があることを理由として、原告側の訴えを退けてしまう<sup>26)</sup>。この判決を不服とした、原告側弁護人のデーヴィスは、翌1956年の初春に、ルイジアナ州のニューオーリンズに法廷を置く、アメリカ連邦第

5 控訴裁判所 (U.S. Fifth Circuit Court of Appeals) へ控訴をし、マンズフィールドにおける人種統合事件を巡る案件は、テキサス州ヒューストンの出身で、かつて同市長の職にあり、控訴裁判所の首席判事の要職にもあった、ジョセフ・C・ハッチソン・ジュニア (Joseph C. Hutcheson, Jr.) 判事の判断に、委ねられることとなった<sup>27)</sup>。

1956年9月からの新学年度開始まで、約2ヵ月と迫った1956年6月28日、アメリカ連邦第5控訴裁判所は、下級審の判断を覆し、マンズフィールド高校を巡る訴訟案件を、連邦地区裁判所のエステス判事へと差し戻した。法廷意見を記したハッチソン首席判事は、下級審の判断は、「ブラウン判決」の趣旨の下で守られているはずの、原告の権利を奪うものであり、「実質的な中身を伴わない【誠意は】、十分なものであるとは言い難い」 (“[Showing good faith,] without works, is not enough”) とし、マンズフィールド学区・教育委員会を戒めたのである<sup>28)</sup>。その後、この差し戻し判決を受けたアメリカ連邦地区裁判所のエステス判事は、いわば選択の余地なく、上級審の判断に沿った新たな判決文を記し始める。連邦控訴裁判所判決が出されてから、ちょうど2ヵ月が経過した——そして、1956学年度の入学・科目登録開始日を、わずか3日後に控えた——8月27日、エステス判事は、被告であるマンズフィールド学区・教育委員会に対して、人種・肌の色を理由とし、入学資格のある生徒（原告）によるマンズフィールド高校への入学を、拒絶してはならない旨の裁判所命令を下した<sup>29)</sup>。

しかしながら、紆余曲折は経ども、黒人生徒がアメリカ合衆国市民として持つ市民権を擁護、確認した連邦司法府の判断とは異なる次元において、そしてマンズフィールド高校における人種統合が差し迫った中において、同市の白人市民の多くにとっては、こうした現実を受け入れる準備が出来ていなかったのである。新学年度の入学・科目登録日の初日である1956年8月30日、250名を超える（400名近くとの報道もなされている）半暴徒化した白人住民が、黒人生徒による入学を阻止するために、マンズフィールド高校を取り囲んだ。高校の敷地内に駐車された乗用車には、あたかもメッセージ・ボード代わりのように、黒人に対する警告や侮蔑の言葉がペイントされたばかりでなく、前日の深夜からこの日の未明の間に、白人住民の何者かによって、普段は星条旗がな

びく国旗掲揚ポールの頂上に、木から首を吊るされた黒人を彷彿とさせるような（かつて南部で多発した、白人による黒人に対するリンチ事件を思わせるような）、藁が中に詰められた等身大の人形（effigy）が吊るされていた。この黒人に似せた藁人形を、国旗掲揚ポールから撤去するか否かを、記者から尋ねられた学校長のウィリー・ピッグ（Willie Pigg）は、無表情なまま、「私が、[星条旗の代わりに] あの人形を吊るしたわけではないのだから、別に降ろすことは考えていない」と、冷然たる返答をしている<sup>30)</sup>。アメリカ連邦地区裁判所の命令を後ろ盾とし、マンスフィールド高校への入学が認められていたはずの黒人生徒達ではあったが、彼らの内誰一人として、入学登録に訪れる者はなかった。まさにこの日、テキサス州のマンスフィールド高校においては、「自由と統合」を体現するはずの星条旗が、「抑圧と排斥」の象徴物としての藁人形によって、取って代わられたのである。【写真3】【写真4】【写真5】

翌日、1956年8月31日の金曜日は、マンスフィールド高校における新学年年度の入学・科目登録日の2日目、そして最終日であった。前日に集まっていた白人群衆の数を上回る数の白人住民（300人から400人との報道や、500人との報道も確認される）が、再びマンスフィールド高校を取り囲む物々しさの中で、登録のために訪れた黒人生徒達が、高校の正面玄関から校舎内へ入っていくのであるが、その正面玄関上方には、黒人を模した2体目の等身大藁人形が、首にあたる部分から吊るされていた。校庭内の国旗掲揚ポールには、1体目の藁人形が、吊るされたままとなっていた。入学をする権利が認められていた黒人生徒達の身の安全を案じた、フォートワースの黒人弁護士デーヴィスは、マンスフィールド教育長であったR・L・ハフマン（R. L. Huffman）宛の電報を介し、黒人生徒達の入学登録を試みるものの、この要求は、ハフマンによってはねつけられる<sup>31)</sup>。【写真6】

一方、テキサス州都が置かれているオースチンにおいても、州知事シヴァースによる、マンスフィールド高校における人種統合への——そしてひいては、連邦司法府への——徹底抗戦が続いていた。2日目の入学登録日にあたる1956年8月31日、報道機関に向けたプレスリリースの中において、「全国黒人地位向上協会」による「時期尚早で愚かな」（“premature and unwise”）行動を批判したシヴァースは、アメリカ連邦制の下で、テキサス州が元来固有に持つ

べきとされてきた権限——つまりは、州権——を引き合いに出しながら、アメリカ合衆国憲法理論としての、「インターポジション」(interposition)と称される理論——連邦政府と自州民との間に、州の権限を差しはさみ、これにより連邦司法府による人種統合命令を、効力なきものとする憲法理論——を展開した<sup>32)</sup>。こうして、州権の発動と、その権限を行使するにあたっての具体策である、「インターポジション」の理論に依拠したシヴァース州知事は、テキサス州に固有な州警備・警官隊にあたる「テキサス・レンジャーズ」(Texas Rangers)の隊員2名を、白人住民による「秩序ある抗議行動」(“orderly protest”)——州知事自身による表現——が続いているマンスフィールド高校へ、法執行官として派遣することを公にすると共に、「暴力事件を誘発する」(“incite violence”)可能性のある人物——つまりは、マンスフィールド高校への入学を望んでいる黒人生徒達——の入学を許可せず、これら生徒達を再び、フォートワースにある黒人高校へ通学させるよう、マンスフィールド学校区に対して命令したのであった<sup>33)</sup>。

火曜日にあたる1956年9月4日、新学年度の授業開始日を迎えた(前日の9月3日の月曜日が、国定祝日である「勤労者の日」[Labor Day]であったがため)マンスフィールド高校では、前週の木曜日と金曜日に引き続き、早朝より200名を超える白人住民が、再び校舎、校庭を取り囲んだ。授業への出席のため、白人生徒が続々と校舎の中に入っていく一方、8月31日に布告されたテキサス州知事シヴァースの命令に従い、マンスフィールド学校区は、マンスフィールド高校への入学を希望してきた黒人生徒達に、「テキサス・レンジャーズ」隊員の護衛を付けたうえで、彼らを従前通り、フォートワースにある黒人高校へと送り込んだのである。この日、マンスフィールド高校校庭内の国旗掲揚ポールと校舎正面玄関上方に吊るされた、2体の等身大黒人形は、ついで撤去されることはなかった<sup>34)</sup>。同日夜半、マンスフィールド高校における人種統合実現を求める法廷闘争に臨んできた、黒人原告側の弁護士であるデーヴィスは、連邦行政府としてのアイゼンハワー大統領政権が、連邦司法府が下してきた人種統合判決を施行するうえでの、なんらかの助力をしてくれることを念じながら、黒人生徒によるマンスフィールド高校への入学を、一旦延期する旨の声明を発表した<sup>35)</sup>。しかしながら、その翌日、デーヴィスが心中に描いた淡

い期待は、現実のものとはならなかった。

1956年9月5日、アメリカ合衆国の首都ワシントンにある大統領官邸内で、国内外からの約170名の記者を招いて開催された、定例記者会見の場において、「マンスフィールド高校事件」に関する記者からの質問に答えたアイゼンハワー大統領は、テキサス州で生じた人種統合・共学を巡る事案は、「同州の然るべき官権により既に取り扱われており、かつマンスフィールドの治安・秩序が回復されている」(“the Texas authorities had moved in and order was restored”) 事実に鑑み、今や、「[連邦政府にとっての] 重要な案件ではあらず」(“the question became unimportant”)、アイゼンハワー政権としては、テキサス州の問題に介入をする考えのないことを明らかにした<sup>36)</sup>。上述した如く、そもそもアイゼンハワー大統領は、アメリカ連邦最高裁判所が1954年に下した、「ブラウン判決」の内容とその実効性に疑問を抱く懐疑論者であったばかりでなく、テキサス州知事シヴァースが信奉する政治的信条でもある、アメリカ連邦制の下での州権の擁護者でもあった<sup>37)</sup>。さらには、アイゼンハワーには、1952年のアメリカ大統領選挙において、「党派ライン」をまたがる形で(アイゼンハワーは共和党大統領、シヴァースは民主党州知事)、自身への支持を表明してくれたシヴァースに対しての、いわば「政治的借り」があったと共に、大統領職への再選を狙っていたアイゼンハワーにとっては(「マンスフィールド高校事件」が生じた1956年は、4年に一度の大統領選挙の年でもあった)、テキサス州における票固めのために、再びシヴァースによる政治支援が必要とされたのであった<sup>38)</sup>。ワシントンでの大統領による記者会見の内容に接したデーヴィス弁護士は、今や、アイゼンハワー政権による、人種統合事案への介入が望めないことを悟り、9月5日の夜、黒人生徒によるマンスフィールド高校への入学を、断念するに至るのである<sup>39)</sup>。

一方、マンスフィールド高校における、人種統合・共学への移行を阻止することに成功したシヴァース州知事は、アイゼンハワー大統領による記者会見が行われた翌日にあたる1956年9月6日、テキサス州都オースチンにおいて自身の記者会見を開き、その場において同知事は、「全国黒人地位向上協会」マンスフィールド支部長ムーディーや、同協会のために尽力してきたデーヴィス弁護士らを、「報酬を得るための扇動者達」(“paid agitators”) であると糾弾

し、「こうした扇動者達がいなければ、[マンスフィールドでの]騒動は起こらなかつたはずだ」(“Without paid agitators we would not have trouble”)との発言をした<sup>40)</sup>。シヴァースがオースチンで記者会見に臨んだその日の朝、「マンスフィールド高校事件」の顛末を報じたマンスフィールドの日刊紙、『マンスフィールド・ニュース』(*Mansfield News*)は、「マンスフィールド高校を取り囲んだ[勇気ある]人々の壁が、墮落したよそ者分子達から、[我々の]高校を守った」(“The human wall around the school grounds protected it against the deteriorating outside factors”)と記し、人種統合への徹底抗戦の構えをみせた白人住民達を称賛したのであった<sup>41)</sup>。

テキサス州知事シヴァースによる記者会見からちょうど1週間後の、1956年9月13日、同州知事が「報酬を得るための扇動者達」と呼び、『マンスフィールド・ニュース』紙が「墮落したよそ者分子達」と称した黒人公民権運動・活動家をその会員とする、「全国黒人地位向上協会」の州内組織が、テキサス州政府による法的攻撃の対象とされていく。「マンスフィールド高校事件」と同様な事件が、州内において拡散していく可能性を根絶することを目指し、シヴァース州知事政権下において、テキサス州司法長官を務めていたジョン・ベン・シェパード(John Ben Shepperd)が、州内における「全国黒人地位向上協会」の活動が禁止されることを求めて、テキサス州の裁判所に訴えを起こしたのである。シヴァース州知事の政治的盟友であったシェパード州司法長官は、州知事と同様、テキサス州東部の「ブラック・ベルト」地帯の出身でもあり、シヴァースが推し進めてきた、州内「ジム・クロウ」制度温存のための諸策施行を、支えてきた人物でもあった<sup>42)</sup>。後に、この裁判事案は、1957年1月にシヴァースの後を継いだ、第38代テキサス州知事M・プライス・ダニエル・シニア(M. Price Daniel, Sr.)政権下での新州司法長官、ウィル・R・ウィルソン・シニア(Will R. Wilson, Sr.)に引き継がれ、1957年5月、審理にあたってきたテキサス州裁判所は、州内において「全国黒人地位向上協会」が、公教育施設における人種統合・共学を求める法廷闘争に関与することを禁じ、この裁判所命令はその後、1960年代を迎えても、効力を持ち続けたままとなった<sup>43)</sup>。

こうした、テキサス州行政府主導による――具体的には、同州司法省主導に

よる——「全国黒人地位向上協会」への、嫌がらせの如き法的攻撃に歩調を合わせる形で、「マンスフィールド高校事件」発生の翌年に開催された、1957年テキサス州議会においても、「ブラウン判決」の趣旨を骨抜きにすることを狙った、計12法案にも及ぶ、いわゆる「人種分離諸法案」(segregation bills)が、テキサス州東部選出の議員達から提出される。(これら諸法案の具体的な内容を練ったのは、1955年夏にシヴァース州知事により設立された、「公立学校における人種分離制度に関するテキサス州知事諮問委員会」であった。)州議会に提出された「人種分離諸法案」の内、当該学校区に住む有権者の過半数を超える人々が認めない限りにおいて、その学校区における人種統合を禁じることを謳った法案が、上下両院において採択される<sup>44)</sup>。議会会期の最終日にあたる1957年5月23日、ダニエル州知事はこの法案に署名をし、新学年度の開始を目前とした8月22日に、同法の施行が開始されたのであった<sup>45)</sup>。

#### アメリカ南部黒人公民権運動史ナラティブにおける 「マンスフィールド高校事件」の重要性

アメリカ連邦最高裁判所による「ブラウン判決」から、実に10年の歳月が過ぎ去ろうとしていた1964新学年度の開始時においても、テキサス州内に住む、小学生から高校生までの約325,000名の黒人生徒の内、わずか5.5パーセントに相当する約18,000名の生徒のみが、人種統合・共学への移行を果たした公立学校に通学をしていたに過ぎなかった<sup>46)</sup>。この同じ年の夏に、テキサス州出身である、第36代民主党大統領リンドン・B・ジョンソン(Lyndon B. Johnson)の主導の下——そして、今や朽ちかけた「ジム・クロウ」制度にしがみつぎ続ける、南部諸州選出の連邦議員達の反対と抵抗の下——連邦法としての「1964年公民権法」(Civil Rights Act of 1964)が成立を見るのであるが、人種統合への移行を拒み続けている学校区に対する、連邦資金援助の停止を規定した同法の第6章(Title 6)の存在により、人種統合事件から9年を経過しようとしていたマンスフィールド高校も、1965年9月に、30名の黒人生徒を受け入れることにより、ついに人種統合・共学への移行を果たすのである

47)。

このように、出来事の表面にあたる「すくい水」の部分だけ——つまりは、単に事の結果だけ——を眺めてしまえば、1956年の晩夏にテキサス州で生じた「マンスフィールド高校事件」は、アメリカ南部黒人公民権運動史における「善玉」が、「悪玉」との闘いにおいて、最終的には敗北を甘受してしまった人種統合事件として、理解されてしまうことであろう。それ故、連邦司法府の後ろ盾を得ながらも、地方政府としてのマンスフィールドとその白人住民による抵抗と憎悪、人種分離・隔離制度を核とした南部の、そしてテキサス州の「生活様式」を死守しようとするテキサス州政府による徹底抗戦の構え、さらには連邦行政府としてのアイゼンハワー大統領政権による黙殺・黙認という、いわば「階層的な三重苦」に抗することが出来なかったことを示したこの事件は、アメリカ南部黒人公民権運動史ナラティブにおける「本文」ではなく、「フットノート、脚注」の中に埋もれてしまうこととなったのである。

しかしながら、実にこの「マンスフィールド高校事件」が、テキサス州黒人公民権運動史、並びに南部黒人公民権運動史の双方の文脈（コンテクスト）において、重要な先例としての役割を果たした事件であったことは、看過されてはならない。1954年に「ブラウン判決」が、そしてその翌年にあたる1955年にこの判決の施行判決がアメリカ連邦最高裁判所により下された後、マンスフィールド学校区は、連邦司法府による公教育分野における人種統合命令を、テキサス州内において受けた初の学校区であり、1956年の「マンスフィールド高校事件」を端緒として、1957新学年度においては、テキサス州内における120を数える学校区において——もっともこれら学校区のほとんどは、元来黒人生徒が不在か僅少である、テキサス州西部の街々の学校区ではあったもの——人種統合・共学への移行が進められたのである<sup>48)</sup>。

他方、1950年代後半から1960年代前半にかけての黒人公民権運動の時代を通じ、マンスフィールドは、人種統合への移行を命じる連邦司法府に反旗を翻したテキサス州政府が、治安・秩序回復の名目の下に、警察権——具体的には、「テキサス・レンジャーズ」隊員の派遣であったが、これは広義においては、州権の援用であった——を行使する対象とされた、州内における唯一のコミュニティともなった。「マンスフィールド高校事件」に際しての、テキサ

ス州知事シヴァースによるこの州権の援用は、同事件の後、公教育分野における人種統合への反対を唱える、他の南部諸州の知事らによって、連邦司法府に（そして後には、連邦行政府にも）対抗するための手段として、用いられていくこととなる。「マンスフィールド高校事件」から1年を経た、1957年9月、アーカンソー州都リトルロックにおいて、同市の伝統的白人校であるリトルロック高校が、人種統合・共学事件の舞台となり、テレビ放送が普及をする中、マスメディアを介し、同事件が全米の注目の的とされた。アメリカ南部黒人公民権運動史ナラティブにおいては、必ず言及をされるこの「リトルロック高校事件」では、連邦裁判所命令の下、結果としては9名の黒人生徒が、同高校への入学を果たすのであるが、これに際し、州都の白人住民が暴徒化する。時のアーカンソー州知事オーヴァル・E・フォーバス (Orval E. Faubus) は、暴動鎮圧の名目の下——そして、黒人生徒達の入学を阻止するために——アーカンソー州軍 (Arkansas National Guard) を州都に派遣するのであるが、この場に及び、アイゼンハワー大統領は、不承不承ながらも、連邦軍 (アメリカ合衆国軍) をリトルロックへ送り込み、州都の治安回復を図ると共に、黒人生徒によるリトルロック高校への入学を実現させるのであった。

1957年晩夏に起きた、アーカンソー州都における「リトルロック高校事件」は、アメリカ南北戦争終結後の南部再建期以来、連邦政府が、黒人の市民・公民権擁護を目的とし、南部州に連邦軍を派遣した最初の出来事となり、この点においても「リトルロック高校事件」は、黒人公民権運動史ナラティブにおいて、重要な位置を占めるのではあるが、同時に、この事件において、人種分離・隔離制度の温存を図るための手段として、アーカンソー州知事が用いた手段——州権論 (states' rights theory) に依拠した手段——は、元来、その事件発生のちょうど1年前に、「マンスフィールド高校事件」において、テキサス州知事シヴァースにより用いられていたものが、その先例となっていたのである。アーカンソー州での「リトルロック高校事件」の後も、1960年代前半に至るまで、ミシシッピ州知事ロス・R・パーネット (Ross R. Barnett) や、アラバマ州知事ジョージ・C・ウォーレス (George C. Wallace) に代表される如く、「ジム・クロウ」制度死守のための、南部諸州行政府長らによる州権の援用と悪用が、続けられていくのである。この点、1956年9月、マンス

フィールド高校を半暴徒化した白人住民が取り囲む最中、同市在住のある白人至上主義者が、記者の質問に答える中で、人種統合への移行に揺れるマンスフィールド高校は、いわば「実験材料」(“guinea pig”)としての扱いを受けているに過ぎないとし、「もし、黒人生徒達が入学でもしよものなら、今後南部の至る所で、同じことが起こるに違いない」(“If they get in here they’ll get in everywhere”)との心情を吐露しているのであるが、まさにこの白人至上主義者による予見は、正しきものであった<sup>49)</sup>。

本報告書を脱稿する今日から数えると、もう暫く前のこととはなるが、アメリカ連邦最高裁判所が「ブラウン判決」を下してからちょうど半世紀、そしてテキサス州のマンスフィールド高校における人種統合・共学が実現してから、ほぼ40年の歳月が流れようとしていた2004年5月17日、カンザス州トピーカにおいて(トピーカ市教育委員会は、「ブラウン判決」における被告であった)、連邦最高裁判所による歴史的な判決の50周年を記念する式典が、時の第43代アメリカ大統領ジョージ・W・ブッシュ(George W. Bush)を招いて開催された。この記念式典でのスピーチにおいて、ブッシュ大統領は、「アメリカは未だに、自らが掲げる[人種間平等という名の]理想を実現するには至っていない」(“America has yet to reach the high calling of its own ideals”)と述べ、新しき21世紀を迎えたばかりのアメリカ社会が抱え続ける最大の課題も、20世紀前半のアメリカにおける高名な黒人指導者であった、W・E・B・デュボイス(W. E. B. DuBois)がかつて語った如く、「人種の壁を巡る問題」(“problem of the color-line”)であり続けていることを示唆した<sup>50)</sup>。アメリカ合衆国の行政長官が吐露した、この「自らが掲げる理想を実現するには至っていない」という言葉を、アメリカ国民はもちろんのこと、アメリカという、様々な意味におけるいわば「実験国家」を観察する者達も、真摯に受け止める必要があるのであろう。

アメリカ南部が、黒人公民権運動の嵐の中に巻き込まれる直前の1949年に、700頁にも及ぶ大著『南部政治』(*Southern Politics in State and Nation*)が、アメリカの政治学者V・O・キー・ジュニア(V. O. Key, Jr.)によって著わされた。今や、アメリカ南部政治に関する古典的業績となった同書の結章においてキーは、「南部白人による、黒人[の市民・公民権問題]からの

解放がなされない限り、南部の政治、そして経済体制は、大いなるハンディキャップを背負い続けるであろう」(“Yet until greater emancipation of the white from the Negro is achieved, the southern political and economic system will labor under formidable handicaps”)との予測をした<sup>51)</sup>。この研究書が世に出されてから、実に70年もの歳月を経た今日、文字通り、汗と血を伴った、南部黒人による「一級市民権」の獲得という「内圧」と、第二次世界大戦以降において、「人種統合」を国是とせざるを得なかった、国家としてのアメリカ合衆国による「外圧」を通して、南部は、その暗い過去の清算という深遠なる課題に、取り組み続けている。

「ジム・クロウ」制度の下、1960年代の前半までテキサス州内の至る所で見受けられた、「白人専用」(“Whites Only”)と記された看板は、今や州都オースチンにある州歴史博物館の如き場所でしか、眺めることはない。しかしながら、その一方において、法律という制度に支えられた人種差別は解消されたとしても、個々人の心の奥底に潜む、「心の問題」としての人種偏見が、依然として存在し続けていることも、厳然たる事実である。そして、この「心の問題」なるものを拭い去っていく努力を惜しまぬことは、今日のアメリカ合衆国にあって、なにも白人のみに課せられた課題ではなく、また、テキサス州を含んだ南部のみに課せられた課題でもない。

#### おわりに——研修を終えての今後の研究課題

研修期間を通して、そして本邦帰国後においても引き続き、一次史料から得られる情報を、B6判サイズの情報カードにしたための作業をしており、現下、300枚強の情報記載済みカードが、手元に存在する。しかしながら、研修期間満了直後に、学内異動を伴いながらの新学年度が開始されたことにも起因し、アメリカを離れる数週間前に蒐集した史料——その中でも特に、テキサス州都オースチンに所在する、テキサス州立図書・公文書館で蒐集をした、「テキサス州知事アラン・シヴァース公文書」(Records of Texas Governor Allan Shivers)や、「テキサス州司法長官オフィス公文書」(Records of the Texas

Attorney General's Office) を始めとする諸公文書（おおよそ 200 文書頁） — の整理、精読作業が、未だに完了していない。

従って、本報告書における叙述、論述内容は、「予備論文」的論稿内容の域を出ないものであり、註頁における参考史料の使用や列挙を含め、十分ではない部分が散見される。研修期間における研究活動の最終的成果については、脱稿までに少しく時間を要するかもしれぬが、稿を改め、英語による論稿（現下におけるの仮タイトルは、“The Day the American Flag Ceased to Fly over the School: Demarginalizing the 1956 Mansfield High School Desegregation Incident in Texas” である）を、然るべき誌上にて公表したい。

尚、本年（2019 年）開催の日本アメリカ学会年次大会においては、大会プログラムの一つである部会（本部会のテーマは、「アメリカ南部を再考する」である）において、討論者（コメンテーター、並びにディスカッサント）役を務めてほしい旨の依頼を、年次大会実行委員会より受けているので、この機会に、本研修における成果の一部を、部会報告・参加者の方々と共有することが出来るよう願っている。

#### 註

- 1) アーカンソー州「リトルロック高校事件」については、Yasuhiro Katagiri, *Black Freedom, White Resistance, and Red Menace: Civil Rights and Anticommunism in the Jim Crow South* (Baton Rouge: Louisiana State University Press, 2014), 119-44 を、ミシシッピ州「ミシシッピ大学事件」については、James H. Meredith, “An Oral History with James Howard Meredith,” recorded interview by Yasuhiro Katagiri, Jan. 11, 1994, transcript, James Howard Meredith Collection, Archives and Special Collections, John D. Williams Library, University of Mississippi, University, Mississippi; Yasuhiro Katagiri, “‘But I Have to Be Confronted with Your Troops’: A Historical Reinterpretation of Mississippi Governor Ross R. Barnett’s Segregationist Defiance toward the John F. Kennedy Administration over the 1962 Desegregation Ordeal at the University of Mississippi,” *Journal of the Faculty of International Studies of Culture* [Kyushu Sangyo University] 67 (2017): 37-86 を、そしてアラバマ州「アラバマ大学事件」については、E. Culpepper Clark, *The Schoolhouse Door: Segregation’s Last Stand at the University of Alabama* (New York: Oxford University Press, 1995) をそれぞれ参照。

- 2) "Texas Almanac: City Population History from 1850-2000," *Texas Almanac*, Texas State Historical Association, Austin, Texas, <<https://texasalmanac.com/sites/default/files/images/CityPopHist%20web.pdf>>.

1950年代前半において、マンスフィールドは、近郊の大都市であるフォートワースに職を持つ人々にとっての、いわば「ベッド・タウン」となり始め、人口の流入が生じるがために、「マンスフィールド高校事件」が起こる1956年前後の推定人口は、1,500人弱と数えられている。この点については、John Howard Griffin and Theodore Freedman, *Mansfield, Texas: A Report of the Crisis Situation Resulting from Efforts to Desegregate the School System* (New York: Anti-Defamation League of B'nai B'rith, n.d. [1957]), John Howard Griffin Information Binder, Mansfield Public Library, Mansfield, Texas を参照。

- 3) Robyn Duff Ladino, *Desegregating Texas Schools: Eisenhower, Shivers, and the Crisis at Mansfield High* (Austin: University of Texas Press, 1996).

- 4) Randolph B. Campbell, *Gone to Texas: A History of the Lone Star State*, 3rd ed. (New York: Oxford University Press, 2017), 426-27; Juan Williams, *Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years, 1954-1965*, 30th-Anniversary ed. (New York: Penguin, 2013).

1986年に、アメリカの「全米公共放送網」(Public Broadcasting Service、略してPBS)が放映した、南部黒人公民権運動を主題とした6話から成るドキュメンタリー番組は、本註内上記のWilliamsの手による*Eyes on the Prize*がその土台となったものであるが、このドキュメンタリーにおいても、「マンスフィールド高校事件」への言及はなされていない。この点については、*Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years*, produced by Blackside, Boston, Massachusetts, PBS, Alexandria, Virginia, 1986, 6 videocassettes; reproduction, 2010, 3 DVD discs を参照。

- 5) 白人・黒人間人種分離・隔離制度としての「ジム・クロウ」制度に関しては、C. Vann Woodward, *The Strange Career of Jim Crow* (New York: Oxford University Press, 1955); Leon F. Litwack, *Trouble in Mind: Black Southerners in the Age of Jim Crow* (New York: Knopf, 1998)を参照。

また、アメリカ連邦最高裁判所の「プレッシー判決」については、Harvey Fireside, *Separate and Unequal: Homer Plessy and the Supreme Court Decision That Legalized Racism* (New York: Carroll and Graf, 2004)と、Steve Luxenberg, *Separate: The Story of Plessy v. Ferguson, and America's Journey from Slavery to Segregation* (New York: Norton, 2019)が、それぞれ参考文献として有益である。

- 6) 冷戦という国際状況・環境にあって、アメリカが「人種統合」を国是とせざるを得ない有り様を、史的考察した研究書、研究論文としては、Mary L.

Dudziak, *Cold War Civil Rights: Race and the Image of American Democracy* (Princeton, New Jersey: Princeton University Press, 2000); Thomas Borstelmann, *The Cold War and the Color Line: American Race Relations in the Global Arena* (Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press, 2001); Carol Anderson, *Eyes off the Prize: The United Nations and the African American Struggle for Human Rights, 1944-1955* (New York: Cambridge University Press, 2003); Yasuhiro Katagiri, "Let the Word Go Forth": John F. Kennedy's Presidential Rhetoric on Civil Rights during the South's Second Reconstruction," *Japanese Journal of American Studies* [Japanese Association for American Studies] 17 (2006): 263-87 を参照。

- 7) アメリカ連邦最高裁判所による「ブラウン判決」に関しては、Richard Kluger, *Simple Justice: The History of Brown v. Board of Education and Black America's Struggle for Equality* (New York: Knopf, 1976)が詳しい。黒人公民権運動団体としての「全国黒人地位向上協会」の歴史とその活動については、Patricia Sullivan, *Lift Every Voice: The NAACP and the Making of the Civil Rights Movement* (New York: New Press, 2009)を参照。
- 「ブラウン判決」は元来、サウスカロライナ州、ヴァージニア州、カンザス州、及びデラウェア州から、それぞれアメリカ合衆国最高裁判所へ上告されてきた、同様の案件についての諸裁判を、統合したものであり、これらが統合された裁判の正式名称において、カンザス州トピーカ市教育委員会が、被告名として使用されたのである。困みに、サウスカロライナ州から上告をされてきた裁判であるところの、「ブリッグス対エリオット裁判」(*Briggs v. Elliott*) についてのコンサイスな論稿としては、Yasuhiro Katagiri, "A Dissenting Gavel: Judge Julius Waties Waring and His Significance in the Pre-Brown Civil Rights Movement," *Kyoritsu Journal of International Studies* [Kyoritsu Women's University] 7 (Mar. 1995): 103-30 を参照。
- 8) 南部黒人公民権運動に対する、白人エスタブリッシュメント層による抵抗運動としての「マッシュ・レジスタンス」に関しては、Numan V. Bartley, *The Rise of Massive Resistance: Race and Politics in the South during the 1950's* (Baton Rouge: Louisiana State University Press, 1969)と、Neil R. McMillen, *The Citizens' Council: Organized Resistance to the Second Reconstruction, 1954-1964* (Urbana: University of Illinois Press, 1971)の2冊が、同主題における「古典的」研究書である。
- 9) Randolph B. Campbell, *An Empire for Slavery: The Peculiar Institution in Texas, 1821-1861* (Baton Rouge: Louisiana State University Press, 1989).
- 10) V. O. Key Jr., *Southern Politics in State and Nation* (New York: Knopf, 1949), 254, 259-60.
- 11) Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 4.

12) Anna Victoria Wilson and William E. Segall, *Oh, Do I Remember!: Experiences of Teachers during the Desegregation of Austin's Schools, 1964-1971* (Albany: State University of New York Press, 2001), 48.

13) *Ladino, Desegregating Texas Schools*, 6, 8.

尚、テキサス州において、最初の「全国黒人地位向上協会」支部が設立されたのは、メキシコとの間の国境の街であるエルパソにおいてであり、それは1914年のことであった。その後、1937年6月になって、同協会の全テキサス州組織 (Texas State Conference of Branches of the NAACP) が、ダラスにおいて組織される。これらの点については、“Our History: History of the El Paso Branch of the NAACP,” El Paso Branch of the NAACP, El Paso, Texas, <<http://naacpelpaso.org/history>>; Ramona Houston, “The NAACP State Conference in Texas: Intermediary and Catalyst for Change, 1937-1957,” *Journal of African American History* 94 (Fall 2009): 510 を参照。

14) 1954年の時点で、州憲法や州法等の法的根拠の後ろ盾の下、公教育分野における、白人・黒人間人種分離・隔離制度を施行していた17州は、英語表記におけるアルファベット順に、アラバマ州、アーカンソー州、デラウェア州、フロリダ州、ジョージア州、ケンタッキー州、ルイジアナ州、メリーランド州、ミシシッピ州、ミズーリ州、ノースカロライナ州、オクラホマ州、サウスカロライナ州、テネシー州、テキサス州、ヴァージニア州、及びウェストヴァージニア州であり、これら諸州の中には、アメリカ南北戦争時に、大陸国家アメリカにおける黒人奴隷制のさらなる拡散を望み、アメリカ合衆国（連邦）を離脱し、「南部連合」を結成、構成した南部11州が、全て含まれていた。また、州憲法・州法に依拠するものではなく、地方自治体レベルにおける条例、ないしは慣行・慣習に基づいて、人種分離・隔離制度を実施していた4州は、カンザス州の他に、全てアメリカ西部に位置する3州——アリゾナ州、ニューメキシコ州、そしてワイオミング州——であった。これらの諸点については、“To All on Equal Terms,” *Time*, May 24, 1954, 9; Paul E. Wilson, *A Time to Lose: Representing Kansas in Brown v. Board of Education* (Lawrence: University Press of Kansas, 1995), 25-26 を参照。

尚、テキサス州にあっては、1925年に、テキサス州教育法 (Texas Education Code) において、白人・黒人間の人種別学教育制度の施行が規定された。この点については、*Liberty (Texas) Vindicator*, Feb. 11, 2015 を参照。

15) Yasuhiro Katagiri, *The Mississippi State Sovereignty Commission: Civil Rights and States' Rights* (Jackson: University Press of Mississippi, 2001), x x x i i i.

16) Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 5; *Ladino, Desegregating Texas Schools*, 75-76.

17) テキサス州政界におけるシヴァースの、簡潔なる経歴については、“The Late Gov. Shivers Will Live On for Many,” *Alcalde* [a bimonthly magazine published by the Ex-Students’ Association of the University of Texas at Austin], Mar./Apr. 1985, 65 と、*New York Times*, Jan. 15, 1985 を参照。

また、シヴァースを主題とした、ポリティカル・バイオグラフィー（政治史的視点による人物伝）としては、Sam Kinch and Stuart Long, *Allan Shivers: The Pied Piper of Texas Politics* (Austin, Texas: Shoal Creek, 1978) と、Ricky F. Dobbs, *Yellow Dogs and Republicans: Allan Shivers and Texas Two-Party Politics* (College Station: Texas A&M University Press, 2005) の 2 冊が有益である。

18) Chandler Davidson, *Race and Class in Texas Politics* (Princeton, New Jersey: Princeton University Press, 1990), 180; Allan Shivers, “Interview with Allan Shivers,” interview by Fred Gantt, Dec. 18, 1967, OH 0026, transcript, 16, 22, Oral History Collection, Special Collections, A. M. Willis Library, University of North Texas [formerly North Texas State University], Denton, Texas; Allan Shivers to Dwight D. Eisenhower, July 16, 1953, folder: “Negro Matters—Colored Question, Segregation—Integration (1),” box 614, Official File, White House Central Files, Records of Dwight D. Eisenhower as President, Dwight D. Eisenhower Presidential Library, Abilene, Kansas.

冷戦下のアメリカにあって、シヴァース州知事は、声高な反共主義者としても知られ、アイゼンハワー大統領と同じく共和党に属した、ウィスコンシン州選出連邦上院議員ジョセフ・R・マッカーシー (Joseph R. McCarthy) ——1950 年代における、反共・赤狩り「マッカーシズム」(McCarthyism) の生みの親——の、熱心な支持者でもあった。この点については、Davidson, *Race and Class in Texas Politics*, 76, 162, 210; Steven L. Davis, *Texas Literary Outlaws: Six Writers in the Sixties and Beyond* (Fort Worth: Texas Christian University Press, 2004), 29; John Egerton, *Speak Now against the Day: The Generation before the Civil Rights Movement in the South* (New York: Knopf, 1994), 575; Jack Bales, *Willie Morris: An Exhaustive Annotated Bibliography and a Biography* (Jefferson, North Carolina: McFarland, 2006), 29; Anna L. Morales, “Repainting the Little Red Schoolhouse: The Texas American History Requirement and McCarthyism,” M.A. thesis, Texas Tech University, 1985, 25 を参照。

19) Stephen E. Ambrose, *Eisenhower: The President* (New York: Simon and Schuster, 1984), 190.

20) Office of the Governor, “Press Memorandum,” July 27, 1955, folder: “Segregation—Miscellaneous,” box 1977/081-464, General Files, Records of Texas Governor Allan Shivers, Archives and Information Services Division, Texas State Library and Archives, Austin, Texas.

21) *Austin (Texas) American*, May 18, 1954; “Texas Advisory Committee on

Segregation in the Public Schools,” member list, n.d. [July 1955]; Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools, “Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools,” Sept. 1, 1956, 3, 11, both in folder: “Segregation-Miscellaneous,” box 1977/081-464, General Files, Records of Texas Governor Allan Shivers.

本註内上記の“Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools”については、テキサス州内に存在、所在する以下の公文書、もしくは公文書館においても、閲覧をすることが出来る。Box 84, U.S. Senator Price Daniel Papers, Sam Houston Regional Library and Research Center, Texas State Library and Archives, Liberty, Texas; Dolph Briscoe Center for American History, University of Texas at Austin, Austin, Texas; untitled folder, box 1989/041-246, Records of the Texas Attorney General’s Office, Archives and Information Services Division, Texas State Library and Archives, Austin, Texas.

尚、アメリカ連邦最高裁判所による「ブラウン判決」、そして「ブラウンⅡ判決」を引き金として、深南部諸州の内の2州——テキサス州の東隣りに位置するルイジアナ州と、さらにその東隣りに位置するミシシッピ州——においては、これら判決を骨抜きとするための施策を立案することを目的とした、いわば「公的抵抗機関」が、それぞれの州政府により設立されるのであるが、テキサス州においても同様な公的機関（「公立学校における人種分離制度に関するテキサス州知事諮問委員会」）が設立されたことは、南部史家、黒人公民権運動史家の間でも、ほとんど了知されていない。1954年6月に設立された、「[人種分離に関する]ルイジアナ州上下両院合同委員会」(Louisiana Joint Legislative Committee [on Segregation])については、Katagiri, *Black Freedom, White Resistance, and Red Menace*, 58-92に、また1956年3月に州行政府機関として設立された「ミシシッピ州主権委員会」(Mississippi State Sovereignty Commission)については、Katagiri, *The Mississippi State Sovereignty Commission* に、それぞれ詳しい。

22) McMillen, *The Citizens’ Council*, 104; Katagiri, *The Mississippi State Sovereignty Commission*, x x x - x x x i .

23) “Appendix 1: Preliminary Report of the Legal and Legislative Subcommittee, Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools, Austin, Texas, August 18, 1955,” in Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools, “Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools,” n.p. [p. 36]; “. . . [illegible] to Go Slow by Legal Subcommittee,” *Fort Worth (Texas) Star-Telegram*, Aug. 21, 1955, *Fort Worth Star-Telegram* newspaper clippings (contained in envelopes): “Segregation, Texas,” Special Collections and Archives, Central Library, University of Texas at Arlington, Arlington, Texas.

- 24) Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 5; “Mansfield May Appeal Federal Court Decree,” *Fort Worth (Texas) Star-Telegram*, Aug. 27, 1956, *Fort Worth Star-Telegram* newspaper clippings (contained in envelopes): “Mansfield, Texas—General Clips—Clips Prior to 1964,” Special Collections and Archives, Central Library, University of Texas at Arlington.  
市民・公民権弁護士としてのデーヴィスの経歴と、彼が黒人法律家として、テキサス州とその隣州であるアーカンソー州において、黒人公民権運動に与えた影響については、Judith Kilpatrick, “Desegregating the University of Arkansas School of Law: L. Clifford Davis and the Six Pioneers,” *Arkansas Historical Quarterly* 68 (Summer 2009): 123-56 が参考になる。
- 25) *Mansfield (Texas) News*, Oct. 27, 1955; Bob Bray, “Texas School Told to Integrate Now: Mansfield Case Arouses People, Order May Set a Precedent,” *Texas Observer*, Aug. 1, 1956, 8.
- 26) Wilson and Segall, *Oh, Do I Remember!*, 49; J. W. Peltason, *Fifty-Eight Lonely Men: Southern Federal Judges and School Desegregation* (New York: Harcourt, Brace, and World, 1961; reprint, Urbana: University of Illinois Press, 1971), 110-11.  
本註内上記の、アメリカ政治学者 Peltason の手による *Fifty-Eight Lonely Men* は、連邦司法府、特に南部に設置された連邦地区裁判所に仕えた南部出身判事達が、公教育制度における人種統合にかかわる訴訟案件と向き合うに際して、それぞれの内に抱えることとなった苦悩と葛藤を主題としている点において、非常に興味深い良書である。
- 27) Ladino, *Desegregating Texas Schools*, 87; Steven Harmon Wilson, *The Rise of Judicial Management in the U.S. District Court, Southern of Texas, 1955-2000* (Athens: University of Georgia Press, 2002), 16.
- 28) Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools, “Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools,” 26; Peltason, *Fifty-Eight Lonely Men*, 111.
- 29) “Mansfield May Appeal Federal Court Decree,” *Fort Worth (Texas) Star-Telegram*, Aug. 27, 1956; Tom Pilkington, *State of Mind: Texas Literature and Culture* (College Station: Texas A&M University Press, 1998), 55-56.
- 30) Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 6; Mansfield Historical Society, *The History of Mansfield, Texas: Mid 1800-1965* (Dallas, Texas: Curtis Media, 1996), 88, Research Room, Mansfield Historical Museum and Heritage Center, Mansfield, Texas; L. Clifford Davis, “Oral History with L. Clifford Davis,” filmed interview by Todd Moye, June 11, 2015, Civil Rights in Black and Brown Oral History Project, Mary Coats Burnett

Library, Texas Christian University, Fort Worth, Texas; Ladino, *Desegregating Texas Schools*, 96; Greg Olds, "Integration in Texas: Some Gains Made, but Substantial Problems Remain," *Texas Observer*, Oct. 28, 1966, 2.

31) Mansfield Historical Society, *The History of Mansfield, Texas*, 88; Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 7.

32) Office of the Governor, "Press Memorandum," Aug. 31, 1956, folder: "Segregation—Mansfield, 1956" box 1977/081-532, Miscellaneous Files, Records of Texas Governor Allan Shivers.

アメリカ合衆国憲法における、憲法理論としての「インターポジション」に関しては、Yasuhiro Katagiri, "Interposition," in Joseph R. Marbach, Ellis Katz, and Troy E. Smith, eds., vol. 1 of *Federalism in America: An Encyclopedia* (Westport, Connecticut: Greenwood, 2006), 355-56 を参照されたい。

33) Office of the Governor, "Press Memorandum [the second memorandum of the day]," Aug. 31, 1956, folder: "Segregation—Mansfield, 1956" box 1977/081-532, Miscellaneous Files, Records of Texas Governor Allan Shivers.

シヴァース州知事による、報道機関に向けたプレスリリースの内容、並びに法執行官としての「テキサス・レンジャーズ」隊員が、マンスフィールド高校へ派遣された点については、他に、George Norris Green, *The Establishment of Texas Politics: The Primitive Years, 1938-1957* (Norman: University of Oklahoma Press, 1984), 189; David K. Chrisman, "Religious Moderates and Race: The Texas Christian Life Commission and the Call for Racial Reconciliation, 1954-68," in Debra A. Reid, ed., *Seeking Inalienable Rights: Texans and Their Quests for Justice* (College Station: Texas A&M University Press, 2009), 104; Mike Cox, *Time of the Rangers: Texas Rangers from 1900 to the Present* (New York: Forge, 2009), 238; Dobbs, *Yellow Dogs and Republicans*, 139; Kinch and Long, *Allan Shivers*, 188; Campbell, *Gone to Texas*, 427; Bartley, *The Rise of Massive Resistance*, 146-47; American Friends Service Committee, National Council of the Churches of Christ, and Southern Regional Council, *Intimidation[,] Reprisal[,] and Violence in the South's Racial Crisis* (High Point, North Carolina; New York; and Atlanta, Georgia: American Friends Service Committee, National Council of the Churches of Christ, and Southern Regional Council, 1959), 29 等の文献を参照。

34) Griffin and Freedman, *Mansfield, Texas*, 8; Mansfield Historical Society, *The History of Mansfield, Texas*, 88.

35) *Brownsville (Texas) Herald*, Sept. 5, 1956.

36) Dwight D. Eisenhower, "The President's News Conference of September

5, 1956,” in *Public Papers of the Presidents of the United States: Dwight D. Eisenhower, 1956* (Washington, D.C.: U.S. Government Printing Office, 1958), 735, 741.

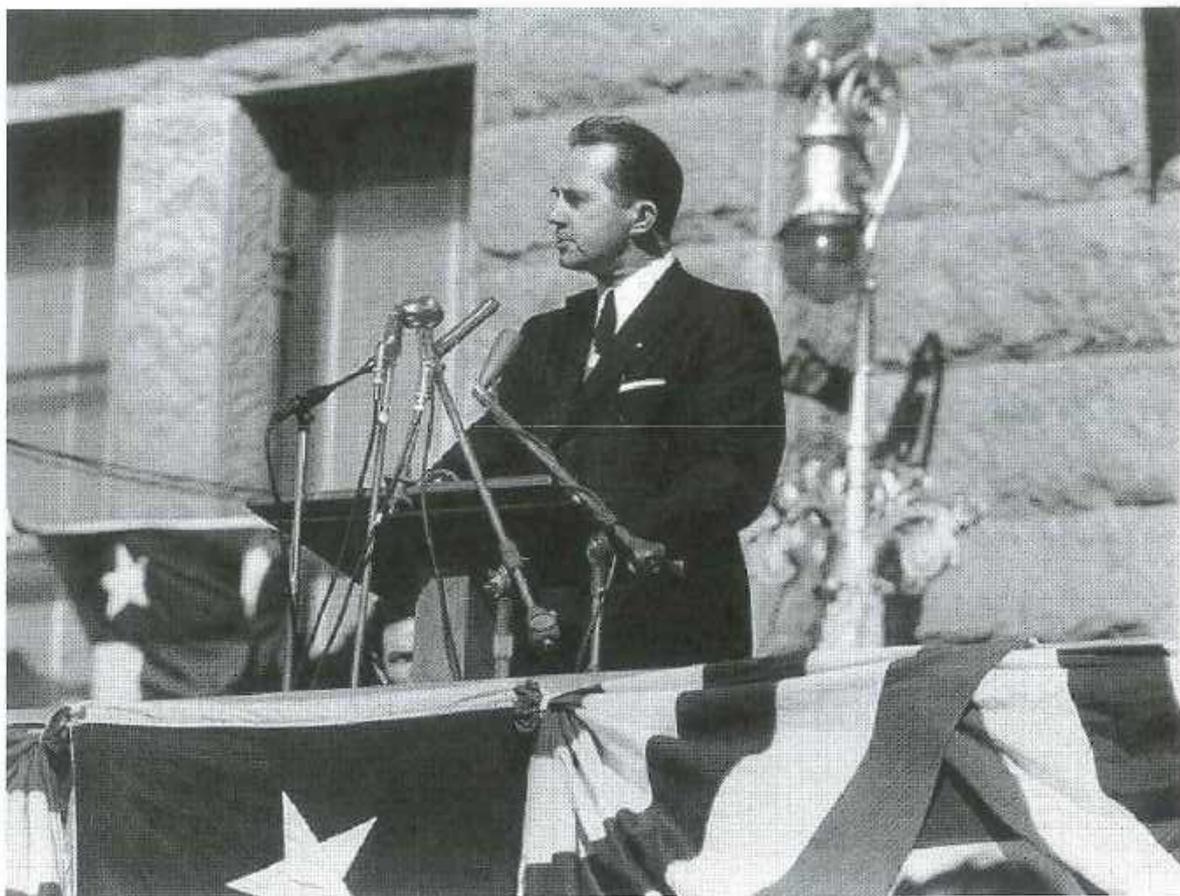
1956年9月5日に行われた、アイゼンハワー大統領による定例記者会見の内容に関しては、他に、Jack M. Bloom, *Class, Race, and the Civil Rights Movement* (Bloomington: Indiana University Press, 1987), 110; Samuel Walker, *Presidents and Civil Liberties from Wilson to Obama: A Story of Poor Custodians* (New York: Cambridge University Press, 2012), 174も参照。

- 37) 黒人市民・公民権全般、そして特にアメリカ連邦最高裁判所「ブラウン判決」についての、アイゼンハワー大統領の心情については、同大統領図書・公文書館に収められている以下の史料が参考になる。Dwight D. Eisenhower, diary entry, July 24, 1953, folder: “Diary—Copies of Dwight D. Eisenhower Personal, 1953-54 (2),” box 9, Dwight D. Eisenhower Diary Series; Ann C. Whitman [Eisenhower’s personal secretary at the White House], “Diary [Entry],” Aug. 14, 1956, folder: “August 1956 Diary (1),” box 8, Ann C. Whitman Diary Series; Whitman, “Telephone Calls,” memo, Aug. 19, 1956, folder: “August 1956 Diary (1),” box 8, Ann C. Whitman Diary Series, all in Papers of Dwight D. Eisenhower as President, Dwight D. Eisenhower Presidential Library.
- 38) David A. Nichols, *A Matter of Justice: Eisenhower and the Beginning of the Civil Rights Revolution* (New York: Simon and Schuster, 2007), 136; Herbert Brownell and John P. Burke, *Advising Ike: The Memoirs of Attorney General Herbert Brownell* (Lawrence: University Press of Kansas, 1993), 196; Earl Black, *Southern Governors and Civil Rights: Racial Segregation as a Campaign Issue in the Second Reconstruction* (Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press, 1976), 373.
- 1956年のアメリカ大統領選挙戦において、シヴァースの支持を受けた共和党候補のアイゼンハワーは、アメリカ南北戦争に続く南部再建期の終焉以降、民主党の牙城であったテキサス州内で投じられた一般投票の、実に55パーセントを獲得している。この点については、Campbell, *Gone to Texas*, 427を参照。
- 39) Ladino, *Desegregating Texas Schools*, 117; Campbell, *Gone to Texas*, 427; Houston, “The NAACP State Conference in Texas,” 521.
- 40) *Dallas (Texas) Morning News*, Sept. 7, 1956; *Fort Worth (Texas) Star-Telegram*, Sept. 7, 1956; Amilcar Shabazz, *Advancing Democracy: African Americans and the Struggle for Access and Equality in Higher Education in Texas* (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2004), 269; Martin Herman Kuhlman, “The Civil Rights Movement in Texas: Desegregation of Public Accommodations, 1950-1964,” Ph.D. diss., Texas Tech University, 1994, 118-19.

- 
- 41) *Mansfield (Texas) News*, Sept. 6, 1956.
- 42) Ronald E. Marcello, "Reluctance versus Reality: The Desegregation of North Texas State College, 1954-1956," in Bruce A. Glasrud and Deborah M. Liles, eds., *African Americans in Central Texas History: From Slavery to Civil Rights* (College Station: Texas A&M University Press, 2019), 261.
- 43) "Legal Action," *Southern School News*, June 1957, 2, *Southern School News* Collection, Tennessee State Library and Archives, Nashville, Tennessee; William Henry Kellar, *Make Haste Slowly: Moderates, Conservatives, and School Desegregation in Houston* (College Station: Texas A&M University Press, 1999), 193; Max Krochmal, *Blue Texas: The Making of a Multicultural Democratic Coalition in the Civil Rights Era* (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2016), 98-99.
- 44) Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools, "Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools," 26-33; Charles Waite, "Price Daniel, Texas Democrats, and School Segregation, 1956-1957," *East Texas Historical Journal* 48 (Fall 2010): 116-17; Mark Newman, *Desegregating Dixie: The Catholic Church in the South and Desegregation, 1945-1992* (Jackson: University Press of Mississippi, 2018), 117; Campbell, *Gone to Texas*, 427; Bartley, *The Rise of Massive Resistance*, 141.
- 45) Price Daniel, statement, May 23, 1957, folder: "Segregation," box 369, Program Files, Governor Price Daniel Records, Sam Houston Regional Library and Research Center, Texas State Library and Archives, Liberty, Texas; *Dallas (Texas) Morning News*, May 24, 1957; "Texas Legislators Pass Pupil Assignment Law," *Southern School News*, June 1957, 2, *Southern School News* Collection.
- 1957年のテキサス州知事就任前に、テキサス州議会下院議長、テキサス州司法長官、そしてテキサス州選出連邦上院議員の要職にあったダニエルを主題とした、ポリティカル・バイオグラフィーとしては、Dan Murph, *Texas Giant: The Life of Price Daniel* (Austin, Texas: Eakin, 2002)と、Charles V. Waite, "Price Daniel: Texas Attorney General, Governor, and Senator," Ph.D. diss., Texas Tech University, 1999が参考になる。
- 46) Campbell, *Gone to Texas*, 427; James McEnteer, *Deep in the Heart: The Texas Tendency in American Politics* (Westport, Connecticut: Praeger, 2004), 84. 他に、"Mansfield School Superintendent Not Rehired, Takes Aspermont Post," *Fort Worth Star-Telegram*, Mar. 30, 1960, *Fort Worth Star-Telegram* newspaper clippings (contained in envelopes): "Mansfield, Texas—General Clips—Clips Prior to 1964"も参照。
- 47) Ladino, *Desegregating Texas Schools*, 142.

- 
- 48) Alwyn Barr, *Black Texans: A History of African Americans in Texas, 1528-1995*, 2nd ed. (Norman: University of Oklahoma Press, 1996), 208.
- 49) *Fort Worth (Texas) Star-Telegram*, Sept. 2, 1956.
- 50) George W. Bush, "Remarks by the President at Grand Opening of the *Brown v. Board of Education* National Historic Site, Topeka, Kansas, May 17, 2004," in *Public Papers of the Presidents of the United States: George W. Bush, 2004* (Washington, D.C.: U.S. Government Printing Office, 2007), 893; W. E. B. DuBois, *The Souls of Black Folk* (Chicago: A. C. McClurg, 1903; reprint, New York: Barnes and Noble, 2003), 16.
- 51) Key, *Southern Politics in State and Nation*, 675.

## 図版



## 【写真 1】

1955年1月18日、テキサス州都オースチンにあるテキサス州議会議事堂前で、州知事就任演説に臨む、第37代テキサス州知事R・アラン・シヴァース  
(テキサス州オースチン「テキサス州立図書・公文書館」所蔵)

[Prints and Photographs Collection, Texas State Library and Archives,  
Austin, Texas]



## 【写真2】

「ジム・クロウ」制度（人種分離・隔離制度）の下、伝統的白人校として運営されてきた、マンスフィールド高校への入学を求めた黒人生徒達（テキサス州アーリントン「テキサス大学アーリントン校公文書館」所蔵）

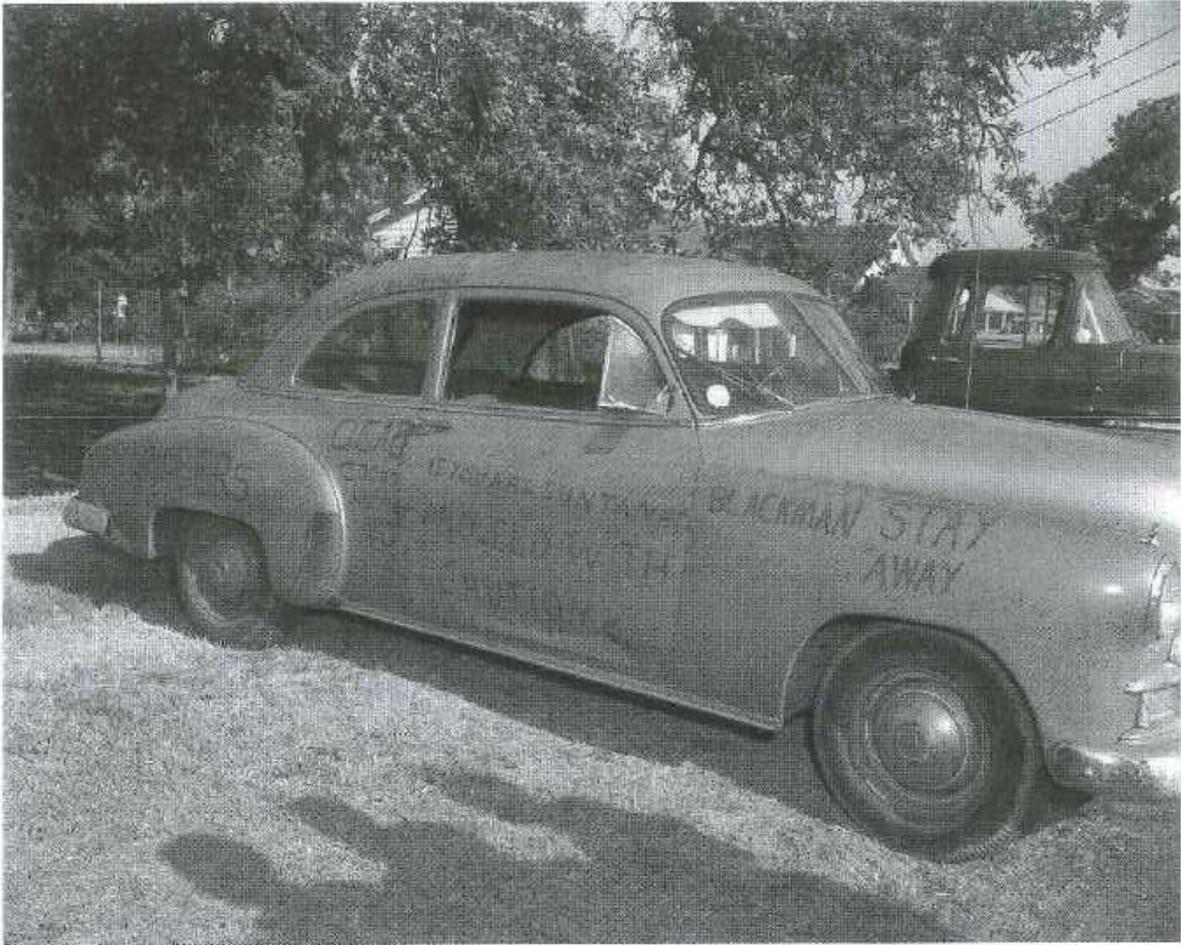
[Photo ID #10009293, *Fort Worth Star-Telegram* Collection, Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington, Arlington, Texas]



【写真3】

黒人生徒によるマンスフィールド高校への入学を阻止するために、  
同高校の校庭・校舎を取り囲んだ、マンスフィールドの白人住民達  
(テキサス州アーリントン「テキサス大学アーリントン校公文書館」所蔵)

[Photo ID #10009294, *Fort Worth Star-Telegram* Collection,  
Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington,  
Arlington, Texas]



【写真4】

黒人に対する警告や侮蔑の言葉（「黒んぼは、出ていけ」や  
「死んだ黒んぼだけが、いい黒んぼなのさ」等）がペイントされた、  
マンスフィールド高校の敷地内に駐車された乗用車  
（テキサス州アーリントン「テキサス大学アーリントン校公文書館」所蔵）

[Photo ID #10009291, *Fort Worth Star-Telegram* Collection,  
Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington,  
Arlington, Texas]



【写真 5】

マンスフィールド高校校庭内にある国旗掲揚ポールから吊るされた、  
黒人を模した等身大藁人形を見上げる白人生徒達  
(テキサス州アーリントン「テキサス大学アーリントン校公文書館」所蔵)

[Photo ID #10006672, *Fort Worth Star-Telegram* Collection,  
Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington,  
Arlington, Texas]



【写真 6】

マンズフィールド高校正面玄関上方に吊るされた、  
黒人を模した等身大藁人形の下を通り、校舎内に入って行く白人生徒達  
(テキサス州アーリントン「テキサス大学アーリントン校公文書館」所蔵)

[Photo ID #10006673, *Fort Worth Star-Telegram* Collection,  
Special Collections and Archives, University of Texas at Arlington,  
Arlington, Texas]

## 参考公文書・文献等リスト

(Archives)

Austin Public Library: Austin History Center, Austin, Texas.

Neal Douglass Photography Collection.

Dwight D. Eisenhower Presidential Library: Abilene, Kansas.

Papers of Dwight D. Eisenhower as President.

Records of Dwight D. Eisenhower as President.

Mansfield Historical Museum and Heritage Center: Research Room,  
Mansfield, Texas.

Mansfield Public Library: Mansfield, Texas.

John Howard Griffin Information Binder.

*Mansfield News* Microfilm Collection.

Tennessee State Library and Archives: Nashville, Tennessee.

*Southern School News* Collection.

Texas Christian University: Mary Couets Burnett Library, Fort Worth, Texas.

Dissertation Collection.

Texas State Library and Archives: Archives and Information Services  
Division, Austin, Texas.

Records of the Texas Attorney General's Office.

Records of Texas Governor Allan Shivers.

Texas Department of Public Safety Photograph Collection.

-----: Sam Houston Regional Library and Research Center, Liberty, Texas.

Governor Price Daniel Records.

U.S. Senator Price Daniel Papers.

Texas Tech University: University Library, Lubbock, Texas.

Thesis and Dissertation Collection.

Texas Wesleyan University: Special Collections and University Archives,  
Eunice and James L. West Library, Fort Worth, Texas.

Oral History Collection.

University of Arkansas at Fayetteville: Special Collections, David W. Mullins Library, Fayetteville, Arkansas.

Arkansas Council on Human Relations Records.

University of Mississippi: Archives and Special Collections, John D. Williams Library, University, Mississippi.

James Howard Meredith Collection.

University of North Texas [formerly North Texas State University]: Special Collections, A. M. Willis Library, Denton, Texas.

Oral History Collection.

University of Texas at Arlington: Special Collections and Archives, Central Library, Arlington, Texas.

*Fort Worth Star-Telegram* Collection.

*Fort Worth Star-Telegram* newspaper clippings (contained in envelopes): "Mansfield, Texas—General Clips—Clips Prior to 1964."

-----: "Segregation, Texas."

Microform Collections.

Texas Political History Collection: Ralph W. Yarborough Collection.

Vertical file: "Mansfield, Texas."

University of Texas at Austin: Dolph Briscoe Center for American History, Austin, Texas.

State of Texas vs. NAACP Case Records.

(Oral Histories)

Davis, L. Clifford. "Oral History Interview with L. Clifford Davis." Filmed interview by Todd Moye, June 11, 2015. Civil Rights in Black and Brown Oral History Project, Mary Coats Burnett Library, Texas Christian University, Fort Worth, Texas.

Meredith, James H. "An Oral History with James Howard Meredith."

Recorded interview by Yasuhiro Katagiri, Jan. 11, 1994. Transcript. James Howard Meredith Collection, Archives and Special Collections, John D. Williams Library, University of Mississippi, University, Mississippi.

Shivers, Allan. "Interview with Allan Shivers." Interview by Thomas B. Brewer, Apr. 12, 1965, Oct. 2, 1965, and Apr. 8, 1966. OH 0006, transcript. Oral History Collection, Special Collections, A. M. Willis Library, University of North Texas [formerly North Texas State University], Denton, Texas.

-----, "Interview with Allan Shivers." Interview by Thomas B. Brewer, E. Dale Odom, and Fred Gantt, Aug. 8, 1966, Feb. 6, 1967, Oct. 2, 1967, Dec. 18, 1967, Apr. 18, 1968, and Aug. 13, 1968. OH 0026, transcript. Oral History Collection, Special Collections, A. M. Willis Library, University of North Texas [formerly North Texas State University], Denton, Texas.

Turner, Ruth, and Billie Miller. "Interview with Ruth Turner and Billie Miller." Interview by Sara Crowley, Feb. 6, 2000. Transcript. Oral History/Folklore Project, Special Collections and University Archives, Eunice and James L. West Library, Texas Wesleyan University, Fort Worth, Texas.

(Audiovisual Material)

*Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years*. Produced by Blackside, Boston, Massachusetts. PBS, Alexandria, Virginia, 1986. 6 videocassettes [3-DVD disk version became available in 2010].

(Newspapers)

*Austin (Texas) American*.

*Brownsville (Texas) Herald*.

*Dallas (Texas) Morning News*.

*Fort Worth (Texas) Star-Telegram.*

*Houston (Texas) Post.*

*Liberty (Texas) Vindicator.*

*Mansfield (Texas) News.*

*New York Times.*

(Federal, State, and City Government Publications)

Historic Landmark Commission of the City of Mansfield. *Historic Mansfield, Texas*. 1992. Vertical file: "Mansfield, Texas," Special Collections and Archives, Central Library, University of Texas at Arlington, Arlington, Texas.

*Public Papers of the Presidents of the United States: Dwight D. Eisenhower, 1956*. Washington, D.C.: U.S. Government Printing Office, 1958.

*Public Papers of the Presidents of the United States: George W. Bush, 2004*. Washington, D.C.: U.S. Government Printing Office, 2007.

Special Education Committee of the Arkansas Legislative Council. "Hearing before the Special Education Committee of the Arkansas Legislative Council." Summary. Dec. 16-18, 1958. Arkansas Council on Human Relations Records, Special Collections, David W. Mullins Library, University of Arkansas, Fayetteville, Arkansas.

Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools. "Report of the Legal and Legislative Subcommittee of the Texas Advisory Committee on Segregation in the Public Schools." Sept. 1, 1956. Box 84, U.S. Senator Price Daniel Papers, Sam Houston Regional Library and Research Center, Texas State Library and Archives, Liberty, Texas; Dolph Briscoe Center for American History, University of Texas at Austin, Austin, Texas; and folder: "Segregation—Miscellaneous," box 1977/081-464, General Files, Records of Texas Governor Allan Shivers, and untitled folder, box 1989/041-246, Records of the Texas Attorney General's Office, both at Archives and Information Services Division,

Texas State Library and Archives, Austin, Texas.

(Books)

- Ambrose, Stephen E. *Eisenhower: The President*. New York: Simon and Schuster, 1984.
- Anderson, Carol. *Eyes off the Prize: The United Nations and the African American Struggle for Human Rights, 1944-1955*. New York: Cambridge University Press, 2003.
- Bales, Jack. *Willie Morris: An Exhaustive Annotated Bibliography and a Biography*. Jefferson, North Carolina: McFarland, 2006.
- Barr, Alwyn. *Black Texans: A History of African Americans in Texas, 1528-1995*. 2nd ed. Norman: University of Oklahoma Press, 1996.
- Bartley, Numan V. *The Rise of Massive Resistance: Race and Politics in the South during the 1950's*. Baton Rouge: Louisiana State University Press, 1969.
- Behnken, Brian D. *Fighting Their Own Battles: Mexican Americans, African Americans, and the Struggle for Civil Rights in Texas*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2011.
- Black, Earl. *Southern Governors and Civil Rights: Racial Segregation as a Campaign Issue in the Second Reconstruction*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press, 1976.
- Bloom, Jack M. *Class, Race, and the Civil Rights Movement*. Bloomington: Indiana University Press, 1987.
- Boduch, Jodie Lynn, ed. *States' Rights*. Farmington Hills, Michigan: Greenhaven, 2006.
- Borstelmann, Thomas. *The Cold War and the Color Line: American Race Relations in the Global Arena*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press, 2001.
- Brownell, Herbert, and John P. Burke. *Advising Ike: The Memoirs of Attorney General Herbert Brownell*. Lawrence: University Press of

- Kansas, 1993.
- Campbell, Randolph B. *An Empire for Slavery: The Peculiar Institution in Texas, 1821-1865*. Baton Rouge: Louisiana State University Press, 1989.
- ....., *Gone to Texas: A History of the Lone Star State*. 3rd ed. New York: Oxford University Press, 2017.
- Clark, E. Culpepper. *The Schoolhouse Door: Segregation's Last Stand at the University of Alabama*. New York: Oxford University Press, 1995.
- Cox, Mike. *Time of the Rangers: Texas Rangers from 1900 to the Present*. New York: Forge, 2009.
- Cox, Patrick. *Ralph W. Yarborough, the People's Senator*. Austin: University of Texas Press, 2001.
- Crain, Robert L. *The Politics of School Integration: Comparative Case Studies*. Chicago: Aldine, 1968; New York: Routledge, 2017.
- Cunningham, Sean P. *Cowboy Conservatism: Texas and the Rise of the Modern Right*. Lexington: University Press of Kentucky, 2010.
- Davidson, Chandler. *Race and Class in Texas Politics*. Princeton, New Jersey: Princeton University Press, 1990.
- Davis, Steven L. *Texas Literary Outlaws: Six Writers in the Sixties and Beyond*. Fort Worth: Texas Christian University Press, 2004.
- Dobbs, Ricky F. *Yellow Dogs and Republicans: Allan Shivers and Texas Two-Party Politics*. College Station: Texas A&M University Press, 2005.
- DuBois, W. E. B. *The Souls of Black Folk*. Chicago: A. C. McClurg, 1903; reprint, New York: Barnes and Noble, 2003.
- Dudziak, Mary L. *Cold War Civil Rights: Race and the Image of American Democracy*. Princeton, New Jersey: Princeton University Press, 2000.
- Egerton, John. *Speak Now against the Day: The Generation before the Civil Rights Movement in the South*. New York: Knopf, 1994.
- Fireside, Harvey. *Separate and Unequal: Homer Plessy and the Supreme*

- Court Decision That Legalized Racism*. New York: Carroll and Graf, 2004.
- Glasrud, Bruce A., and Deborah M. Liles, eds. *African Americans in Central Texas History: From Slavery to Civil Rights*. College Station: Texas A&M University Press, 2019.
- Green, George Norris. *The Establishment in Texas Politics: The Primitive Years, 1938-1957*. Norman: University of Oklahoma Press, 1984.
- Katagiri, Yasuhiro. *The Mississippi State Sovereignty Commission: Civil Rights and States' Rights*. Jackson: University Press of Mississippi, 2001.
- , *Black Freedom, White Resistance, and Red Menace: Civil Rights and Anticommunism in the Jim Crow South*. Baton Rouge: Louisiana State University Press, 2014.
- Kellar, William Henry. *Make Haste Slowly: Moderates, Conservatives, and School Desegregation in Houston*. College Station: Texas A&M University Press, 1999.
- Key, V. O., Jr. *Southern Politics in State and Nation*. New York: Knopf, 1949.
- Kinch, Sam, and Stuart Long. *Allan Shivers: The Pied Piper of Texas Politics*. Austin, Texas: Shoal Creek, 1978.
- Klarman, Michael J. *From Jim Crow to Civil Rights: The Supreme Court and the Struggle for Racial Equality*. New York: Oxford University Press, 2004.
- Kluger, Richard. *Simple Justice: The History of Brown v. Board of Education and Black America's Struggle for Equality*. New York: Knopf, 1976.
- Krochmal, Max. *Blue Texas: The Making of a Multicultural Democratic Coalition in the Civil Rights Era*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2016.
- Ladino, Robyn Duff. *Desegregating Texas Schools: Eisenhower, Shivers, and the Crisis at Mansfield High*. Austin: University of Texas Press, 1996.
- Luxenberg, Steve. *Separate: The Story of Plessy v. Ferguson, and America's*

- Journey from Slavery to Segregation*. New York: Norton, 2019.
- Litwack, Leon F. *Trouble in Mind: Black Southerners in the Age of Jim Crow*. New York: Knopf, 1998.
- Mansfield Historical Society. *The History of Mansfield, Texas: Mid 1800-1965*. Dallas, Texas: Curtis Media, 1996. Research Room, Mansfield Historical Museum and Heritage Center, Mansfield, Texas.
- Marbach, Joseph R., Ellis Katz, and Troy E. Smith, eds. *Federalism in America: An Encyclopedia*. 2 vols. Westport, Connecticut: Greenwood, 2006.
- Marquez, Benjamin. *Democratizing Texas Politics: Race, Identity, and Mexican American Empowerment, 1945-2002*. Austin: University of Texas Press, 2014.
- McArthur, Judith N., and Harold L. Smith. *Texas through Women's Eyes: The Twentieth-Century Experience*. Austin: University of Texas Press, 2010.
- McEnteer, James. *Deep in the Heart: The Texas Tendency in American Politics*. Westport, Connecticut: Praeger, 2004.
- McMillen, Neil R. *The Citizens' Council: Organized Resistance to the Second Reconstruction, 1954-64*. Urbana: University of Illinois Press, 1971.
- Murph, Dan. *Texas Giant: The Life of Price Daniel*. Austin, Texas: Eakin, 2002.
- Newman, Mark. *Desegregating Dixie: The Catholic Church in the South and Desegregation, 1945-1992*. Jackson: University Press of Mississippi, 2018.
- Nichols, David A. *A Matter of Justice: Eisenhower and the Beginning of the Civil Rights Revolution*. New York: Simon and Schuster, 2007.
- Peltason, J. W. *Fifty-Eight Lonely Men: Southern Federal Judges and School Desegregation*. New York: Harcourt, Brace, and World, 1961. Reprint, Urbana: University of Illinois Press, 1971.
- Pilkington, Tom. *State of Mind: Texas Literature and Culture*. College

- Station: Texas A&M University Press, 1998.
- Reid, Debra A., ed. *Seeking Inalienable Rights: Texans and Their Quests for Justice*. College Station: Texas A&M University Press, 2009.
- Shabazz, Amilcar. *Advancing Democracy: African Americans and the Struggle for Access and Equality in Higher Education in Texas*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2004.
- Sullivan, Patricia. *Lift Every Voice: The NAACP and the Making of the Civil Rights Movement*. New York: New Press, 2009.
- Target, Andrew J. *Seeds of Empire: Cotton, Slavery, and the Transformation of the Texas Borderlands, 1800-1850*. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2015.
- Walker, Samuel. *Presidents and Civil Liberties from Wilson to Obama: A Story of Poor Custodians*. New York: Cambridge University Press, 2012.
- Williams, Juan. *Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years, 1954-1965*. 30th Anniversary ed. New York: Penguin Books, 2013.
- Wilson, Anna Victoria, and William E. Segall. *Oh, Do I Remember!: Experiences of Teachers during the Desegregation of Austin's Schools, 1964-1971*. Albany: State University of New York Press, 2001.
- Wilson, Paul E. *A Time to Lose: Representing Kansas in Brown v. Board of Education*. Lawrence: University Press of Kansas, 1995.
- Woodward, C. Vann. *The Strange Career of Jim Crow*. New York: Oxford University Press, 1955.

(Booklets and Pamphlet)

- American Friends Service Committee, National Council of the Churches of Christ, and Southern Regional Council. *Intimidation[,] Reprisal[,] and Violence in the South's Racial Crisis*. High Point, North Carolina; New York; and Atlanta, Georgia: American Friends Service Committee, National Council of the Churches of Christ, and Southern Regional

Council, 1959.

Griffin, John Howard, and Theodore Freedman. *Mansfield, Texas: A Report of the Crisis Situation Resulting from Efforts to Desegregate the School System*. New York: Anti-Defamation League of B'nai B'rith, n.d. [1957]. John Howard Griffin Information Binder, Mansfield Public Library, Mansfield, Texas.

Mansfield Historical Museum and Heritage Center. *Historic Mansfield[, ] Texas*. Mansfield, Texas: Mansfield Historical Society, 2016. Research Room, Mansfield Historical Museum and Heritage Center, Mansfield, Texas.

(Articles)

Bray, Bob. "Texas School Told to Integrate Now: Mansfield Case Arouses People, Order May Set a Precedent." *Texas Observer*, Aug. 1, 1956, 8.

Diamond, Raymond T. "Confrontation as Rejoinder to Compromise: Reflections on the Little Rock Desegregation Crisis." *National Black Law Journal* 11 (1989): 151-76.

Houston, Ramona. "The NAACP State Conference in Texas: Intermediary and Catalyst for Change, 1937-1957." *Journal of African American History* 94 (Fall 2009): 509-28.

Katagiri, Yasuhiro. "A Dissenting Gavel: Judge Julius Waties Waring and His Significance in the Pre-*Brown* Civil Rights Movement." *Kyoritsu Journal of International Studies* [Kyoritsu Women's University] 7 (Mar. 1995): 103-30.

..... "Let the Word Go Forth': John F. Kennedy's Presidential Rhetoric on Civil Rights during the South's Second Reconstruction." *Japanese Journal of American Studies* [Japanese Association for American Studies] 17 (2006): 263-87.

..... "But I Have to Be Confronted with Your Troops': A Historical Reinterpretation of Mississippi Governor Ross R. Barnett's

Segregationist Defiance toward the John F. Kennedy Administration over the 1962 Desegregation Ordeal at the University of Mississippi.” *Journal of the Faculty of International Studies of Culture* [Kyushu Sangyo University] 67 (2017): 37-86.

Kilpatrick, Judith. “Desegregating the University of Arkansas School of Law: L. Clifford Davis and the Six Pioneers.” *Arkansas Historical Quarterly* 68 (Summer 2009): 123-56.

“The Late Gov. Shivers Will Live On for Many.” *Alcalde* [a bimonthly magazine published by the Ex-Students’ Association of the University of Texas at Austin], Mar./Apr. 1985, 65.

“Legal Action.” *Southern School News*, June 1957, 2.

Olds, Greg. “Integration in Texas: Some Gains Made, but Substantial Problems Remain.” *Texas Observer*, Oct. 28, 1966, 1-7.

“Texas Legislators Pass Pupil Assignment Law.” *Southern School News*, June 1957, 2.

“To All on Equal Terms.” *Time*, May 24, 1954, 9.

Waite, Charles. “Price Daniel, Texas Democrats, and School Segregation, 1956-1957.” *East Texas Historical Journal* 48 (Fall 2010): 110-22.

(M.A. Thesis and Dissertations)

Cannon, Tina Nicole. “Cowtown and the Color Line: Desegregating Fort Worth’s Public Schools.” Ph.D. diss., Texas Christian University, 2009.

Kuhlman, Martin Herman. “The Civil Rights Movement in Texas: Desegregation of Public Accommodations, 1950-1964.” Ph.D. diss., Texas Tech University, 1994.

Morales, Anna L. “Repainting the Little Red Schoolhouse: The Texas American History Requirement and McCarthyism.” M.A. thesis, Texas Tech University, 1985.

Waite, Charles V. “Price Daniel: Texas Attorney General, Governor, and Senator.” Ph.D. diss., Texas Tech University, 1999.